

大学発スタートアップマガジン

とっきんとっきん

vol.6

2025

特集

STAND UP!
DEEPTech STARTUP

TOKKIN TOKKIN 6

vol. 6

2024年。新型コロナウイルス禍を経て、歓声に包まれたパリ・オリンピックが開催された。

コロナ禍で抑圧されていた社会が、急ピッチに、怒涛のごとく動き出した。

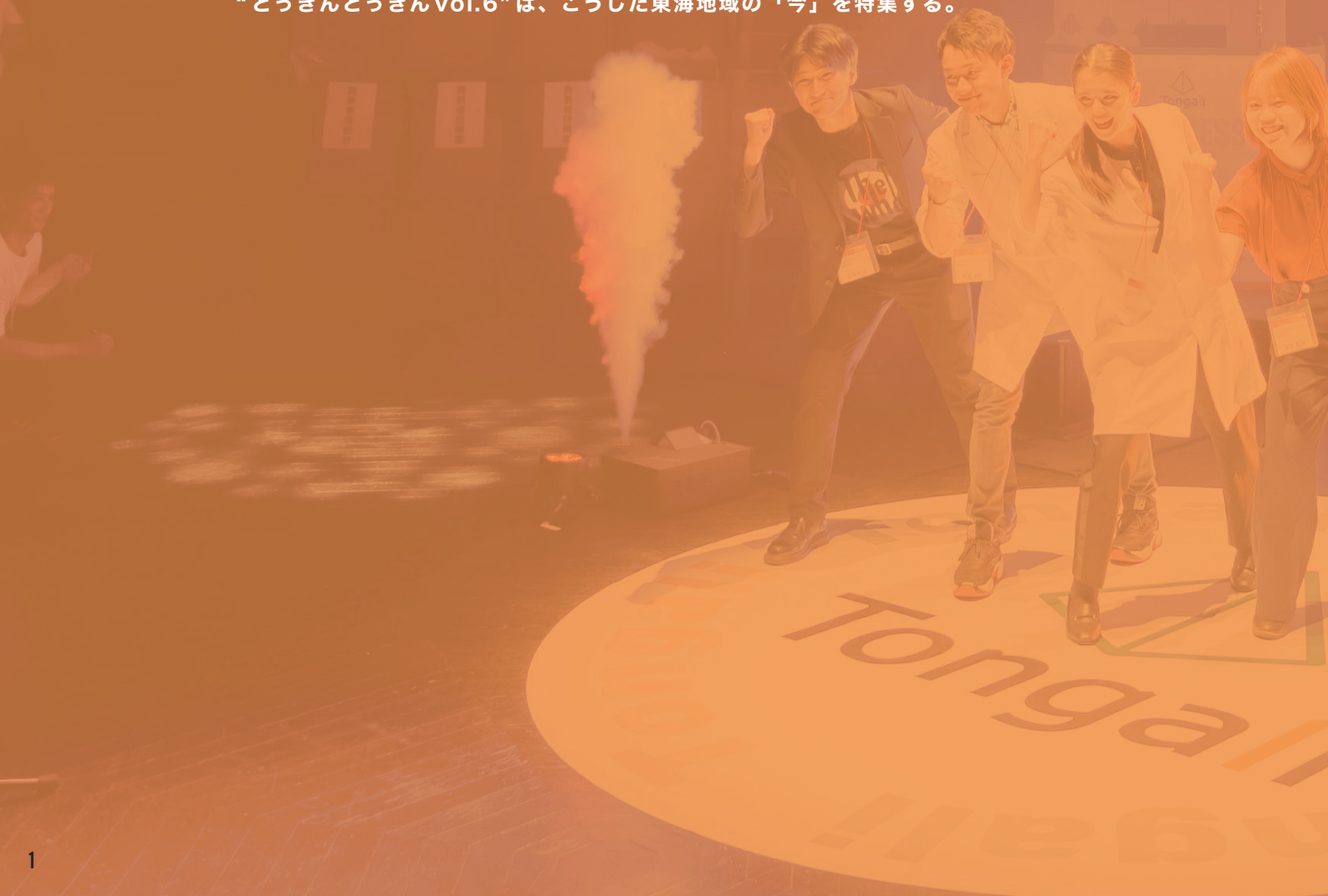
2015年に5大学で始まった Tongali も、今では28の大学・機関での活動に拡大。

10月には、日本最大級のオープンイノベーション拠点 STATION Ai がオープンし、東海地域のスタートアップエコシステムのカラーが、少しずつ見え始めている。

大学の研究シーズを生かした起業支援 "GAPファンドプログラム" も、今年から大規模化。

研究シーズを生かした起業が、開花し始めている。

“とっきんとっきん vol.6” は、こうした東海地域の「今」を特集する。



休憩で人生を豊かに

STAND UP!DEEPTECH STARTUP	03	光産業創成大学院大学・静岡大学	17
GAPFUND INTERVIEW	05	浜松医科大学・豊田工業大学	18
PROJECT	07	静岡理工科大学・金城学院大学	19
MEMBERS	09	中部大学・名古屋外国語大学	20
名古屋大学・豊橋技術科学大学	10	静岡県立大学・名古屋国際工科専門職大学	21
名古屋工業大学・岐阜大学	11	自然科学研究機構・STATION Ai	22
三重大学・名城大学	12	SUPPORTERS	23
中京大学・藤田医科大学	13	SUPPORTERS INTERVIEW	25
名古屋市立大学・岐阜薬科大学	14	STARTUP INTERVIEWS	29
愛知県立芸術大学・愛知県立大学	15	KNOCK-KNOCK STARTUPS	32
椋山女学園大学・南山大学	16	BACK ISSUES	40

技術の力で、社会を変える

大学・研究機関に蓄積された膨大な研究シーズ。その社会実装を強力に推し進めるのが、研究シーズをもとにしたディープテック・スタートアップ。

サイエンスに基づくビジネスは、成功までの障壁も多いが、市場を捉えられれば言葉の壁を越えて瞬く間に世界に広がり、新たな産業創出の起爆剤として期待される。

Tongaliの起業支援活動は、リスクをとって自ら市場を切り拓く研究者のチャレンジをバックアップしている。



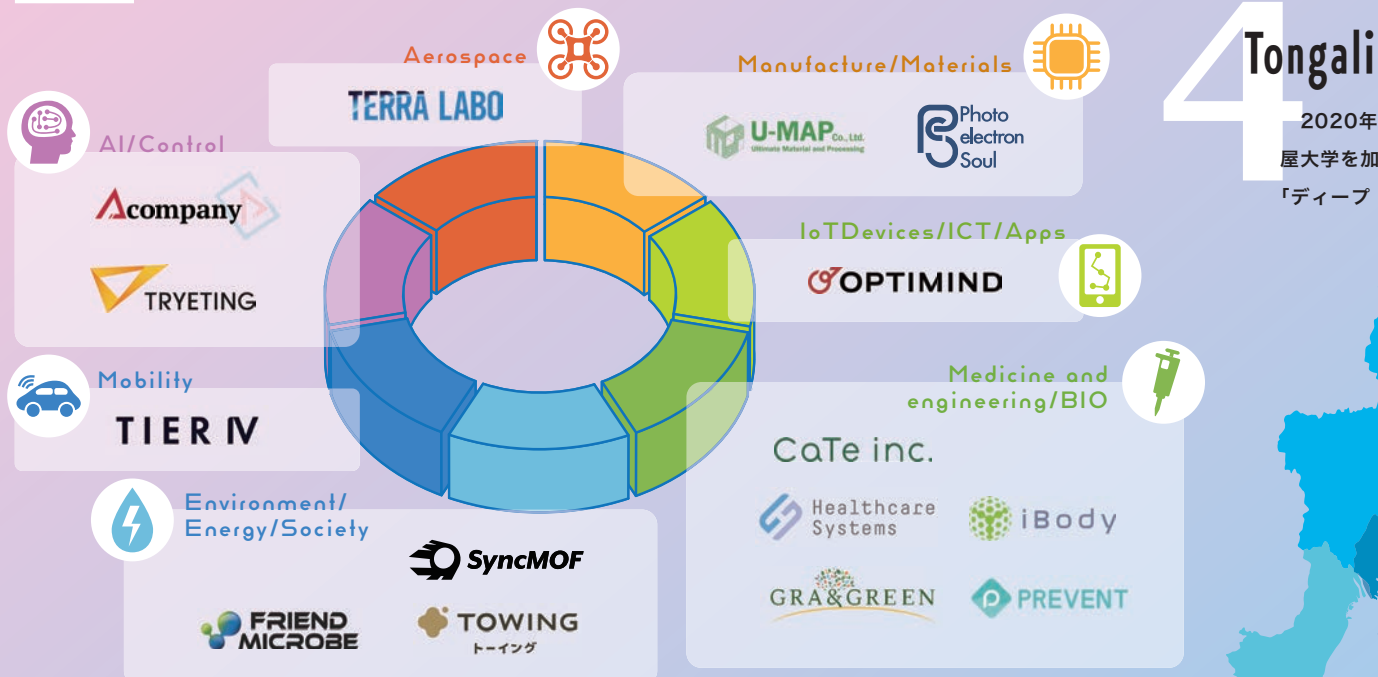
 Tongali X

STAND UP! DEEPTECH STARTUP

2 先行する東海地区のアカデミア系 ディープテック・スタートアップ

モビリティ・情報技術・材料・モノづくり・ライフサイエンス等、大学・研究機関の研究力の周辺にはすでに有力なアカデミア系スタートアップが生まれ、グローバルな発展を目指し活躍している。

東海地域に集積する産業クラスターとアカデミアに蓄積された研究シーズが組み合わせられ、新たなスタートアップが続くよう、産学官が連携した後押しが期待される。



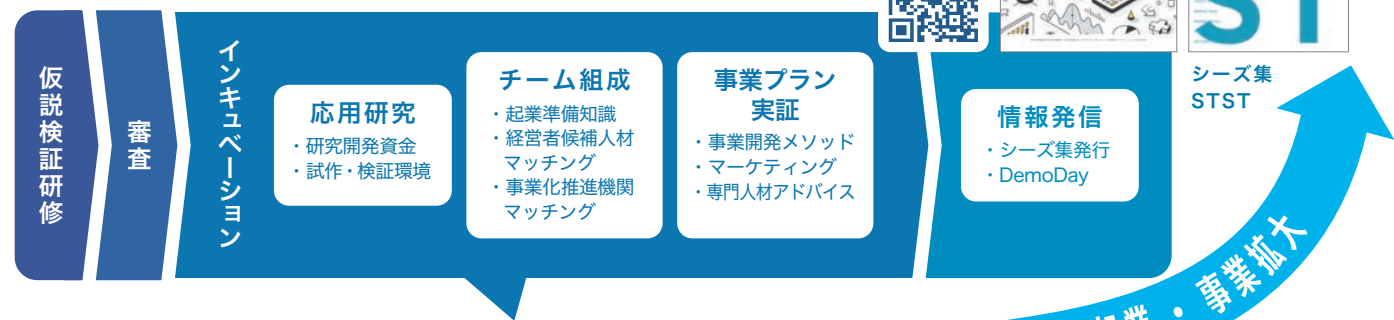
Central Japan Startup Ecosystem Consortiumホームページより、J-Startup/J-startup CENTRAL 選定企業のうち、大学関連スタートアップを掲載

Tongali の起業支援

技術シーズ発のディープレック・スタートアップは、高額な設備投資や収益化までの赤字期間が長いことなど、起業初期にかかるリスクが大きい。Tongali-Xでは、既存企業ではリスクを負えないポテンシャルの高い技術シーズの事業化に挑戦する研究者を支援している。

研究者の起業を後押しする GAP ファンドプログラム

(JST 大学発新産業創出基金事業 スタートアップ・エコシステム共創プログラム)



からはじまる Tech Innovation Smart Society の実現

7月、愛知・名古屋・浜松地域がスタートアップ・エコシステム「グローバル拠点都市」に選定。中部経済連合会と名古屋形成するコンソーシアムをはじめ、東海地域の産学官金が一体となり、ものづくり産業集積地としての基盤を活かした「テックイノベーション」のグローバル拠点づくりを目指して活動を進めている。



NEXT > GAP ファンドプログラム発 スタートアップインタビュー >

大学研究の事業化を推進！ 大きな成果を社会へ、世界へ。

GAP FUND INTERVIEW

株式会社 fff fortississimo

代表取締役 CEO

入澤 寿平 氏

――先生の取り組み内容を教えてください。

入澤：まずひとつめは、私が代表を務める株式会社 fff fortississimo（エフエフエフフォルテッシモ、以下 fff 社）の取り組みです。fff 社は名古屋大学発ベンチャーとして先端繊維材料開発技術を核とした事業を展開しており、現在は主にテニスラケットの開発と販売をおこなっています。これは、学生時代から20年以上研究を続けてきたカーボンナノチューブやその他の機能性添加剤の混合技術開発をベースに商品化したもの。起業初年度から販売をスタートし、口コミのみで徐々に顧客を増やしています。

もうひとつは、大学教員の立場で取り組んでいる「炭素繊維における新たな製造方法の研究開発」です。この研究開発については fff 社の名前の由来ともなっている研究チーム、Future Fiber Factory（フューチャーファイバーファクトリー、FFF、岐阜大学コンポジット研究センター内に設置）において、NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）事業として進めています。

炭素繊維は一般的にアクリル繊維を原料としていますが、私たちはこの研究開発を通じて、廃棄物や未利用資源を原料に用いた製造方法を確立しました。長年の同志である九州大学の中林康治先生、京都工芸繊維大学の野々口

斐之先生とともに進めてきたこの新しい製造方法は、資源の有効活用に貢献しながら、低コストで高品質な炭素繊維を生産することが可能です。本技術は炭素繊維業界に大きな変革をもたらす可能性を秘めていると確信しており、現在は、特許出願と産業化に向けた準備を進めています。

――炭素繊維研究を始めたきっかけは。

入澤：私が炭素繊維の研究を志したのは、学生時代から熱中していたテニスがきっかけです。練習を重ねるなかで自然とテニス用品、特にラケットに使われているカーボン素材に興味を持つようになり「テニスラケットに使用されている炭素繊維の研究がしたい」と大学院に進みました。ところが、炭素繊維の研究開発については1980年前後で一区切りが付いており、私が大学院に進んだ2000年代当時、業界内では「炭素繊維の研究についてはもうやることがない」といった意見が一般的でした。そのため炭素繊維そのものの研究に携わることは叶わず、指導教官から、研究室に依頼のあったカーボンナノチューブを用いた産業用プラスチック素材の開発に取り組むよう命じられ、そこから研究者としての道がスタートしました。

その後、縁あって産業技術総合研究所（産総研）に就職し、東京大学、民間企業大手三社のNEDO事業による共同プロジェクトに参加することに。「やり尽くした」と言われていた炭素繊維業界においてこの機会は最先端の研究に携わる絶好のチャンスでしたし、当時の私

はまだ若手研究者だったにもかかわらずさまざまな偶然が重なって一つのテーマ課題における中心的な役割を担うこととなり、人脈形成を含め非常に貴重な経験を積むことができました。2014年からは名古屋大学にて化学・生命工学や材料デザイン工学の研究にも携わることとなり、異分野の知見や知識を吸収しながら、改めて「材料」を深く考える機会となりました。

――ベンチャー企業を立ち上げた理由は。

入澤：さまざまな研究に携わるなかで、いつからか「自分の研究をもっと社会に直接役立てたい」との思いを抱くようになっていました。そうしたなか、2020年に母が他界。母は最後に「行きたいところも全部行ったし、やりたいことも全部やった。後悔は一切ない」と言ってこの世を去りました。この言葉は私の心に深く刺さり、「今、自分が死んだら、何か意味のある人生だったと言えるだろうか？」と自問自答することに…。そうしてたどり着いたのが「ベンチャー企業を立ち上げ、社会に役立ちたい」という思いでした。

実は学生時代に一度、ベンチャー企業を立ち上げようとした経験がありました。バイオプラスチックの研究をしている友人と「環境に優しいレジ袋を販売する」というビジネスモデルを考えたのですが「レジ袋は今後も絶対に有料にはならないから君たちのビジネスは無理だ」と言われ、あっさりあきらめてしまったんです。でも今や、スーパーのレジ袋は有料が当たり前。もしかすると、このときにチャンスを逃してしまった経験がずっと、心残りとしてあったのかもしれない。

ベンチャー企業を立ち上げようと決意したタイミングでGAPファンドが始まると聞き、



過去に実現できなかった技術を「復興」して革新的な炭素繊維を実現。 他分野・他材料にも「知のルネサンス」を広げたい。

長年研究を続けてきた繊維材料開発技術を基にした事業計画を練り上げました。本ファンドに採択されたことで「大学教員」と「ベンチャー企業の経営者」という二足のわらじ生活が始まったわけですが、本ファンドのおかげでビジネス上のやり取りや研究資金の調達が非常にスムーズだと感じますし、大学機構が持つリソースやネットワークを最大限に活用できる環境にも感謝しています。

また、「ベンチャー企業の経営者」という顔を持ったことで、ラジオ番組やYouTuberから出演オファーをいただくなど、これまでにはなかった機会の創出にもつながっています。加えて、実際に製品を使用したユーザーの声を直接聞けることも、会社を立ち上げた魅力のひとつだと感じています。例えばテニスガット事業において、上級者やベテランプレーヤーが目の前で「この値段でこの品質は最高だ」と評価してくださる瞬間は、研究開発だけでは得られなかった喜びです。

――今後の展望を教えてください。

入澤：優れた特性を持つ炭素繊維は、今後さらに幅広い分野での活用が期待されている材料です。一方で、炭素繊維は長らく「高コスト」「成形性の低さ」「リサイクル技術の不足」といった課題を抱えてきました。私は、炭素繊維産業を持続可能なものにするためには「使うエコ」

と「作るエコ」を両立するべきだと考えています。2040年ごろには、廃棄されるCFRP（炭素繊維強化プラスチック）の処理が深刻な問題となる可能性があると言われていますが、私たちが開発した新技術は、これらの課題を解決できる革新的な方法だと自負しています。本技術によりCFRPの再利用と低コスト化の両方を同時に実現すれば炭素繊維の用途が大きく広がり、その結果、地球全体における省エネルギー効果にもつながるはず。この分野がさらに発展すべく、産業界、政府と連携しながら研究者として全力を尽くしていくとともに、それらの技術をいち早く社会実装・事業化することが、fff社の役割だと考えています。加えて、私たちが進めている研究活動として掲げたいキーワードは「知のルネサンス」です。「ルネサンス」とは「復興」「再興」を意味する言葉で、古いものに新しいものを取り入れて発展させていこうという考え方。炭素繊維がそうであったように、現代社会において広く使われている材料の中には、実は「過去の時代に、たまたまその方法でうまくいった」ことが、現在も常識として続けられているケースがたくさんあります。今後、炭素繊維製造のアップデートを例として、他の材料・分野にも「知のルネサンス」の考えを広めていけたらと思っています。

fff社については、将来的には経営戦略部分を専門家に任せる可能性があるかもしれません

が、会社の技術開発の中心的役割は、継続して自分自身が担っていくべきだと考えています。なぜなら、私は炭素繊維について「世界でもっとも熱く語れる人間の一人だ」と自負しているから。この情熱と専門知識は、会社の魂として重要だと捉えています。

――スタートアップを目指す教員へアドバイスをお願いします。

入澤：自分たちの研究をベースにした商品のイメージがすでにあり、自分たちで市場に出せる自信があるのであれば、会社を立ち上げることをお勧めします。その一方で起こりがちな失敗としては、技術ありきで、商品を届ける先や求めている人のイメージが見えていないケースです。もちろんスタートしてからのトライアンドエラーは必要ですが、会社を立ち上げる前に「こういうマーケットでこう売る」と確信を持てることが、まずは重要なことだと思います。

また、「これまでと同じ時間しか働かたくない」という考えでは難しいかもしれません。苦労は多々あれど、「大学教員」と「ベンチャー企業の経営者」に打ち込む人生の意義はとても大きいと思いますよ！



株式会社 fff fortississimo 代表取締役 CEO

入澤 寿平 氏

PROFILE

2011年、東京工業大学にて博士（工学）を取得。産業技術総合研究所、名古屋大学を経て岐阜大学に異動。2022年1月に研究チームFuture Fiber Factoryを設立、同年4月に株式会社 fff fortississimo を創業。代表取締役と大学教員の二足のわらじで活動中。

PROJECT

2015

11月

東海地区5大学(名古屋大学・豊橋技術科学大学・名古屋工業大学・三重大学・岐阜大学)アントレプレナーシップ教育実施に向けて密談開始。

2016

名古屋大学・東海地区大学
広域ベンチャーファンド始動

3月

Tongaliのコンセプトを発表。
産声を上げる！

7月

第1回Tongaliシンポジウム
を開催。まずは一歩。

2017

7月

文部科学省EDGE-NEXTに
採択。5大学がヨチヨチ歩き。
事後評価において最高評価S
を獲得

2018

7月 **協力機関No.01** 大阪大学

2019

6月 **連携機関No.06** 名城大学

8月 **協力機関No.02** 熊本大学

10月 **連携機関No.07** 中京大学

2020

世界に伍するスタートアップ・エコシ
ステム拠点形成計画：グローバル拠点
都市認定
社会還元加速プログラム (SCORE) 大
学推進型
拠点都市環境整備型 採択
事後評価にて最高評価Sを獲得

6月 **連携機関No.08** 藤田医科大学

8月 **連携機関No.09** 名古屋市立大学

10月 **連携機関No.10** 岐阜薬科大学

Tongaliの沿革

アイデア×テクノロジーで未来をつくる



東海地区の5大学が連携して始まったアントレプレナーシップ教育。

今年は3大学が加わり26大学での活動となった。

連携した活動が着々と拡大している。

2022

4月 **連携機関 No.15** 浜松医科大学

5月 **連携機関 No.16** 光産業創成大学院
大学

連携機関 No.17 静岡大学

6月 **連携機関 No.18** 豊田工業大学

2021

大学発新産業創出プログラム (START)
-大学・エコシステム推進型スタート
アップ・エコシステム形成支援 -採択

4月 **連携機関 No.11** 愛知県立芸術
大学

6月 **連携機関 No.12** 椋山女学園大学

9月 **連携機関 No.13** 愛知県立大学

11月 **連携機関 No.14** 南山大学

2024

大学発新産業創出基金事業 スタートアップ・エコシステム共創プログラム 採択

3月 **連携機関 No.25** 名古屋国際工科専門職大学

8月 **連携機関 No.26** 名古屋商科大学

2023

1月 **連携機関 No.19** 金城学院大学

連携機関 No.20 静岡理工科大学

連携機関 No.21 中部大学

5月 **連携機関 No.22** 名古屋外国語大学

連携機関 No.23 静岡県立大学

12月 **連携機関 No.24** 名古屋経済大学

Tongali's HISTORY 2015-2024

詳細はTongaliウェブサイトをご覧ください。 <https://tongali.net/>



MEMBERS

アントレプレナーシップ教育、起業支援の最前線。

Tongali に参画する東海地区の各大学では、
それぞれに特色あるアントレプレナーシップ教育、
起業支援が行われている。
その現場で、いま何が始まっているのか。
各大学の取り組み、その最前線を聞いた。



アイデア×テクノロジーで 未来にチャレンジする学校



Tongaliの主幹大学である名古屋大学は、Tongaliの共通プログラムとして、年度当初に「Tongaliシンポジウム」を開催し、“アントレプレナーシップ”の理解促進を図る。また、「Tongaliスクール」や「海外研修」により、新たなことに挑戦するために必要な視座やスキルを習得する。

更に、ビジネスプランコンテスト（6月）やアイデアピッチコンテスト（11月）を開催し、多くの学生にチャレンジする場を提供している。これらのコンテストの上位入賞チームには、活動支援金を贈呈するとともに、

アイデアやビジネスプランをブラッシュアップする機会を提供するなど、年間を通じてアントレプレナーシップ教育プログラムを提供している。

加えて、名古屋大学として、中高生を対象としたアントレプレナーシップ教育にも注力しており、2024年度からは名古屋市と連携し、更に若年層の育成にも力を入れ始めている。

Tongaliは、これからも試行錯誤を繰り返しながら、歩み続けていきたい。



A. Tongali ビジネスプランコンテスト2024決勝戦（ファイナル）の様子
B. 海外研修（インドネシア）の様子
C. Tongali マスコット「トガルン（とんがったアイデアで世界を救うヒーロー）」
D. 名古屋市との連携事業



Nagoya University

豊橋技術科学大学

スタートアップ推進室を新設 新規事業創出と高度人材育成を目指す

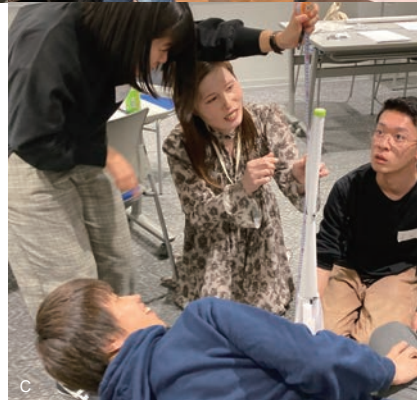


本学は、8月1日に「スタートアップ推進室」を新設し、スタートアップ推進・支援とアントレプレナーシップ教育体制を一本化し、研究成果の社会実装、および未来社会を創造する高度人材育成を目指した活動を積極的に行う。また、「学生会」を組織化し、全国高専や地域の大学生などの声を拾い、教材提供やプログラムの紹介など積極的な支援を行うことも考えている。

推進室においては、本年より高専生のインターンシップ受入れにも取り組み、継続的に大学のプログラムの受講

や支援を受けられるよう体制を構築する。また、互いの長所短所を補い相乗効果により優れたビジネスアイデアやビジネスプランを生み出すことを目的とし、愛知県立芸術大学との連携・共修を推進し、これまでにない特色ある取り組みも行っている。

意欲のある学生や社会人に対し、より良いプログラムや教材の提供を行い、地域一体となり人や産業を育て、エコシステムの中で育った優秀な学生を世の中に輩出することを目指す。



A. 親子ロボット工作教室 / 交流会の様子 / B. 地域連携スタートアップ講座のグループワークの様子 / C. スタートアップ基礎講座でのビジネスゲームの様子 / D. アントレ講座受講生と共にビジネスプランを考えた仲間 / E. 新たに製作したテキスト「スタートアップのための本質思考法」



Toyohashi University of Technology

「ものづくり精神」を備え持った 挑戦者の一歩を後押しする!



長きにわたり地域産業と向き合ってきた名古屋工業大学には「ものづくり精神」を受け継ぐプレーヤーが多く存在している。そうした人材の中から、未来を見据え、社会変革を先導するアントレプレナー人材を輩出することを目的に、学部学生や専門性を持った大学院生、若手研究者などに対して、育成・支援プログラムを実施している。また、学生有志が立ち上げた起業部「NaSH」が主体的に様々なイベントを企画・運営し、学生と産業界が自由に交流できる「産学連携コワーキングスペース」で日夜活動している。

<活動の一例>

- ・アントレプレナー育成塾：学内外の起業家を招きトークイベントを隔月で開催。(過去約20名以上が登壇) ざっくばらんな対談形式で、学生のみならずサポート企業や行政機関も参加している。
- ・ブラッシュアップセミナー“SECOND UP”：新アイデアを創出しプレゼンができるレベルまでブラッシュアップする。他大学からの参加も多く、密なコミュニティを構築している。

A.2023起業家同好会_NaSH
B.Tongali受賞
C.アントレプレナー育成塾

Nagoya Institute of Technology

岐阜大学

野心よ集え



SHUNYA CHOSOKABE	NANAKO NOMURA	MOEKA SUGIE	ITSUKI NATSUME	MITSUKI KATO	RYOTA SUGIMOTO	SHION ITO
 長曽我部 竣也さん ●FiberCraze株式会社 代表取締役社長 ●岐阜大学 自然科学技術部研究科 物質・ものづくり工学専攻 (2023年3月卒業)	 野村 奈々子さん ●岐阜大学 医学部 看護学科 (2023年3月卒業)	 杉江 萌花さん ●岐阜大学 教育学研究科 初等教育実践専攻 専攻 2 専攻 (2023年4月修了)	 夏目 一輝さん ●株式会社 artkake 代表取締役社長 ●岐阜大学 地理情報学専攻 地理情報学専攻 修士 1 専攻 (2022年 4月修了)	 加藤 満基さん ●岐阜大学 工学部 電気電子 情報工学科 電気電子コース (2023年3月卒業)	 杉本 穂太さん ●岐阜大学 応用生物科学部 食品環境科学専攻 2 専攻 (2023年4月修了)	 伊藤 忍音さん ●岐阜大学 応用生物科学部 食品環境科学専攻 2 専攻 (2023年4月修了)
R3年 キャンパスベンチャーグランプリ 全国大会 文部科学大臣賞	R3年 キャンパスベンチャーグランプリ 全国大会 審査委員会特別賞	R3年 キャンパスベンチャーグランプリ 中部大会 大賞(1位)	R4年 Tongali ビジネスプラン コンテスト 最優秀賞	R5年 みやぎハッカソン 優秀賞(全国2位)	R5年 Tongali ビジネスプラン コンテスト 優秀賞	R5年 ビジネス創造コンテスト 最優秀賞(全国1位)・ グローバルビジネス賞
R2年 キャンパスベンチャーグランプリ 中部大会 大賞(1位)	R2年 キャンパスベンチャーグランプリ 中部大会 特別賞 中部経済産業局長賞	R2年 東海学生AWARD 最優秀賞	R4年 きふビジネスアイデア・ プレゼンテーション 最優秀賞グランプリ	R4年 アグリフードハッカソン 最優秀賞	R4年 Tongali アイデアピッチ コンテスト 最優秀賞	R5年 大学SDGsACTION! AWARDS 準グランプリ(全国2位)
R3年 FiberCraze株式会社 起業	R1年 東海学生AWARD 優秀賞	R3年 Tongali アイデアピッチ コンテスト 最優秀賞	R3年 Tongali アイデアピッチ コンテスト 最優秀賞	R4年 Tongali ビジネスプラン コンテスト 最優秀賞	R4年 Tongali アイデアピッチ コンテスト 最優秀賞	R4年 SDGs探求AWARDS 最優秀賞(全国1位)
		R3年 Tongali アイデアピッチ コンテスト 最優秀賞	R3年 株式会社 artkake 起業	R3年 Tongali アイデアピッチ コンテスト 最優秀賞	R4年 NAGOYA CONECT PICH 共創アイデア部門 最優秀賞	R4年 Tongali アイデアピッチ コンテスト 最優秀賞・ 海外チャレンジ賞

岐阜大学

将来予測が困難な時代を迎える中、既存の枠を超え自ら行動を起こし新たな価値を生み出していくアントレプレナーシップを醸成していかなければならない。

岐阜大学では、こうした認識に基づき、2020年に、中部地方で初となる大学公認の「起業部」が発足、また新たに起業関連授業を開講するなど、活動を活性化させて

いる。これまで岐阜は、決して起業の盛んな地域ではなかった。しかし、起業部がハブとなりイノベーションを創出する動きが現れ、その動きが徐々に他の学生や地域社会にも広がりつつある。このムーブメントをさらに拡大し、新たな未来を切り拓く。

A. 活躍する起業人材！/B. 中部地方初！大学公認の起業部メンバーと地域の生徒さん/ C. 岐大アントレ公式マスコット「東海ニヤントレプレナー」

Gifu University



三重大学起業部設立



三重大学では有志の学生が集まり2023年度後期に起業部を立ち上げた。2024年7月には三重大学公認のクラブとなった。現在、部員は8名で人文学部、工学部、医学部の学部1年生から5年生までの幅広い学生が所属している。部員は早速、三重大学アイデアピッチコンテストや学外のアイデアピッチコンテストへの出場、自治体のスタートアップ支援プログラムへの参加、ソーシャルアントレプレナーシップを学ぶための地域共創活動など、活動を進めている。今後の三重大学起業部の活躍に注目したい。

その他の出来事としては、2024年3月に開催された「津商工会議所設立130周年記念事業ビジネスアイデアコンテスト」において、三重大学生物資源学部1年の学生が最優秀賞、人文学部1年2名が優秀賞と入賞を獲得する嬉しいニュースがあった。同コンテストは三重県や愛知県の大学生25チーム（54人）が応募し、書類審査を通過した7チーム（19人）が最終審査に臨んだ。いずれも津市を活性化させようとする画期的なアイデアばかりであり、コンテストは盛会のうちに終わった。

A. 「三重大学アイデアピッチコンテスト2024」の参加者集合写真
 B. 「三重大学アイデアピッチコンテスト2024」での発表の様子
 C. 「津商工会議所設立130周年記念事業ビジネスアイデアコンテスト」の表彰式の様子

名城大学

**ありたい未来を自分で創る will、
それを叶える手段・仲間との出会い**

名城大学

名城大学は、「プログラム」「コミュニティ」「場」を軸に、アントレプレナーシップを持った次世代人材育成に取り組んでいる。

正課教育・正課外でアントレプレナーシップ教育を実施し、正課外プログラムでは、全学生を対象に実施することで学部の枠を越えた交流を促している。また、起業に関心のある学生や起業を目指す学生が集うコミュニティ「MEIJO STARTUP CLUB（通称：MSC）」があり、MSCのメンバーをはじめ多くの学生が、ビジネスコンテスト等への参加や学び合いを通じて、起業に必要な

マインドやスキルの習得を目指している。

起業活動拠点ものづくりスペースM-STUDIO（天白C）は、ものづくりを通じて実践的な学びを提供し、多様なプロジェクトを行うための場である。この拠点に幅広い分野の人々が集い、アイデアをカタチにすることでクリエイティブな交流や活動が生まれることを目指している。社会連携ゾーンshake（ナゴヤドーム前C）は、オープンなパブリックスペースであり、多様な人々が年齢や職業に関係なくフラットに交流することで、集・学・創が共有できる学びの場を目指している。

A. MEIJO STARTUP CLUB 活動の様子 / B. 社会連携ゾーン shake / C. 起業活動拠点ものづくりスペースM-STUDIO / D. アントレプレナー人材育成プログラム



EPoCh、4年目に突入しました！



2021年度から「中京大学アントレプログラム EPoCh (エポック Entrepreneur Program of ChukyoUniversity)」を実施している。今年も夏季休暇を利用し、大学生を対象とするワークショップを3日間に亘り実施した。今年度は過去最多の30名の申込があり、当日は例年以上に活気のあるワークショップとなった。終了後には「楽しみながら、自分の未熟さを知る良い機会になった」などの感想が寄せられ、学生の意識の向上を感じ取れた。今年には新たに様々なビジネスプランコンテストで受賞経験のある学生起業家を招き、社会課題解決に関するワーク

ショップの開催を予定している。

プログラムの実施にあたり、本学ではアントレプレナーシップを「起業に必要な精神」という定義に収まらず、様々な困難や変化に対し与えられた環境のみならず自ら枠を超えて行動を起こし、新たな価値を生み出していく精神と捉えている。起業することのみを推奨するのではなく、広い意味での起業家精神を育むことを目的とすることで、学生にアントレプレナーシップ醸成の大切さを伝えることとしている。

A.プレゼンでは講師から厳しい意見も(ワークショップ)
 B.学部も学年も違うメンバーがアイデアを持ち寄り、一つの企画を作り上げる(ワークショップ)
 C.やはり先輩の話は身近に感じる(講演会)

Chukyo University

藤田医科大学

医療イマジネーションで 社会課題に挑む人材を育成



藤田医科大学では、「自分の人生を主体的に生きる」ための教育として、小学生から社会人まで全世代を網羅したアントレプレナーシップ教育を展開。2024年2月には「こども起業家シミュレーション」3月には「中学生向け医療的起業家プログラム」といったワークショップを開催し、小中学生に主体性や創造性を持つことの大切さを伝えてきた。

また本年度は医工連携による更なる共同研究や人材交流を目的に、名古屋工業大学、香港科学技術大学など工業大学とのMOUを締結。今夏には11日間の「藤田医科大学国際ブートキャンプ」を開催し、国内外の大学生・

大学院生を対象に、医療現場でのアンメットニーズを理解し、解決からイノベーションにつなげるシナリオをBootcamp方式で学ぶ実践的アントレプレナーシッププログラムを実施した。

一方で、本学研究者の研究シーズの社会実装に向けてはスタートアップ推進室を軸に、外部研究資金の獲得支援や起業支援等を行っている。

今後もこれらの活動を発展させ、医療分野でのスタートアップ創出をめざしていく。



A.ブートキャンプ：開会式のグループ撮影/B.中学生向け医療的起業家プログラム：ワークショップの様子/C.こども起業家シミュレーション：ワークショップの様子/D.ブートキャンプ：YouTube再生リストのURL

D



Fujita Health University

めざせ、真のアントレプレナー！

ひらけ、自分の可能性！



名古屋市では「アントレプレナー」＝「新しい価値を創出し実践する人」の輩出に向け、アントレプレナーシップの醸成/実践知識&スキルの習得の機会を設けている。

アントレプレナーシップの醸成については、起業家や起業支援者を招いたアントレプレナーセミナーを開催し、学生、教職員のマインドセットの転換を促す。

実践知識&スキルの習得については、会社経営をシミュレーションできるゲームを用いて経営の基礎を学ぶワークショップや、学生発アイデアを事業プランに昇華するべ

くアイデア創発や検証方法について学ぶセミナー、企業の課題について社員と共に解決案を検討する課題解決型プログラムを継続的に実施している。

2024年には専任でスタートアップ支援担当が配属された。また、学生アントレプレナーサークルNCU Action HUBが正式承認され、アントレプレナーイベント開催など積極的な活動を展開している。

名古屋市では今後も真のアントレプレナーシップを身につけ、挑戦しようとする学生、教職員の応援を続けていく。

A. トータルゲーム
B. アントレプレナーサークル開催イベント実施風景

Nagoya City University

社会課題を解決できる薬剤師を
社会に送り出せる大学へ！



岐阜薬科大学は「教育」「研究」「社会貢献」を大学の3つの柱として長きにわたり創薬に関わる研究と医療に貢献できる高度な人材を輩出することで地域に貢献している大学である。

本学は、薬剤師免許の取得に加え、その先にある社会課題の解決に薬剤師の視点で取り組める Pharmacist-Scientistsの育成を目指し、岐阜薬科大学、岐阜大学が所在する岐阜市黒野地域におけるライフサイエンス拠点の形成に取り組んでいる。また、岐阜市と連携してアントレプレナーシップ教育を実施するとともに、Tongali

プロジェクトにも参画、アントレプレナーシップマインドを持った起業家の育成に努めている。

創薬を中心としたアントレプレナーシップ教育プログラムでは起業家が持つ経営者としての視点、熱い想いで困難を解決していく力を学ぶ機会を学生に与えると共に同教育プログラムを Tongali 関連大学等にも広く公開。また、2024年度に新たに研究企画URA室を設置し、2025年度の法人化による大学発ベンチャーの解禁に向け、学内教員からの起業を促すシーズ探索と起業に向けた助言、学内規程の整備等を積極的に行っている。



A. 2024年1月の能登半島地震では、本学薬剤師と共にモバイルファーマシー（災害対策医薬品供給車両）を被災地に派遣、医療支援を実施／B. 社会課題への挑戦（ドローンによる医薬品供給実証実験）／C. 研究開発マインドを持った若い人材の育成／D. 薬局での実習

Gifu Pharmaceutical University

アートとアントレプレナーシップ

愛知県立芸術大学



アート・デザイン思考

社会では、アート・デザイン思考を活用した講座やワークショップが盛んに行われている。既知のプロセスに準じて多くの教育現場や企業等でイノベーションを図ろうとしているが、不思議なことに、芸術大学においてアートやデザイン思考のワークフレームが教育のメインとなることは稀である。なぜなら、芸術大学における創造性教育の根幹は深い自己理解に基づく自己表現欲求にあるからであり、自己との対話によって新たな価値を探究することを求めている。

アントレプレナーシップ教育への独自の取り組み

「自己理解は創造の第一歩である。」という考え方は、

A. 山川恭弘客員教授によるアントレプレナーシップ教育

B. 森の中に佇む愛知県立芸術大学

C. 8つのアイディエーションメソッド教材

最先端の起業家教育と一致している。愛知県立芸術大学は、その考えと共通するバプソン大学の山川恭弘准教授を迎え、起業アイデアを立案するアントレプレナーシップ教育を行なっている。また、自己理解を深め固定観念を超えるための8つのアイディエーションメソッドを開発してイノベーションへ向けた独自アプローチを実践している。

アートとアントレプレナーシップを活用した人材育成

自己理解というアートとアントレプレナーシップに共通する創造性を培うメソッドを形式知として誰もが扱える教材を開発し、本学のデザイン教育のみならず、他大学や高校生向けアントレプレナーシップ教育等へ展開している。今後もさらに活用範囲を拡大し、社会とともにイノベーションの可能性を生み出す方法論を開拓する。

Aichi University of the Arts

ACTION/
REFLECTION
TRUMPS
EVERYTHING
EIGHT
IDEATION
METHODS

C

愛知県立大学

AAI 起業部～垣根を越えた問題設定・
解決プラットフォーム

AAI 起業部は愛知県立大学と愛知県立芸術大学、そして近隣大学の学生および教職員からなる団体であり、現在126名のメンバーを擁している。内訳は愛知県立大学の学生がもっとも多く、また本学には女子学生が多く、かつ文系学部が多いため文系女性も多い。そこから新しい切り口が生まれぬか、様々な活動を通して可能性を模索している。

一つの取り組みとして、企業で新規事業開発に取り組む方をお招きして新規事業開発の手法を学ぶワークショップを開催した。これは学生が学部や大学を

越えた交流を体験できる機会ともなり、学生がとても楽しんでいった。

日常、何気なく思っていることが他人も共通に持つ問題であることに気づくとか、また逆に、それが自分独自の考えであることに気づくことは、コミュニケーションを通じてしかなし得ない。こうした場を大学や学部の境界を越えて実現できるAAI 起業部を目指す。また、気付いた問題の解決方法を考え話し合う文化が学生に広がると、大学全体の大きな変化につながるものと考えている。

A. AAI 起業部ワークショップの様子

社会課題解決型ビジネスコンテストを 核として女性起業家を育成

 椋山女学園大学

本学では、2021年度よりTongaliプロジェクトに参画し、高校生・大学生対象のビジネスプラン・コンテストを核としたアントレプレナーシップ人材育成プログラムの活動を行っている。

コンテストでは、社会課題解決型のビジネスプランを作成、報告を経験する機会をつくり、特に、女性起業家の育成に力を入れている。前提となる社会課題の設定や解決策の検証などは、教員や専門家による講演・メンタリングの機会を複数回設定し、学びの範囲を超えて学部横断型のチームアップも可能となっていることが大きな特徴である。

コンテストへの応募を契機に新たな視点、視野、視座で社会を捉え、それらに挑戦する機運を高めるとともに、女性ならではのしなやかな問題解決力を向上させ、自立した女性が社会で活躍する可能性を拡げていくことを目指している。また、東海北陸地域5県の高校生も当コンテストに多く応募しており、今後も東海地域の起業家のすそ野を広げることに貢献していく。

A. 「Women Business Entrepreneurs」において起業家による特別講義
B. ビジネスプラン・コンテストのプレゼンテーション
C. 本大会における教員とのメンタリング

Sugiyama Jogakuen University



南山大学

社会にインパクトを与える 挑戦者を育てる

NANZAN
UNIVERSITY

南山大学は、「人間の尊厳のために」を教育モットーとして、グローバルな視点を持ってより良い社会の実現に貢献できる人材育成を目指している。アントレプレナーシップは、自らが一歩を踏み出して社会を変えていく力の大切な源であると考えており、2021年からTongaliプロジェクトに参画し、所属学部を問わず、アントレプレナーシップ教育の機会を提供している。

プログラムは、スタートアップや事業開発にかかわるゲストスピーカーを招いた講演会、アイデア出しから

実現に至るプロセスを学ぶワークショップ、社会実装を見据えた英語でのピッチコンテストで構成されている。南山大学がこれまで培ってきた豊かな国際性を活かして、海外協定校とのネットワークを活用した国際的セッションや日本語を集中的に学ぶ受入れ留学生と日本人学生との共同講座など、よりグローバルなテーマやチーム編成でアントレプレナーシップを学ぶことができるプログラムを提供する。2023年に新たに立ち上がった学生による起業部とも連携した取り組みを行う。

A.Nanzan English Pitch Arena / B. 愛知県スタートアップ推進課の職員らによる講演会 / C. アイデア創出ワークショップ / D. アイデア創出ワークショップ2

Nanzan University





すぐ試作で検証!

「P-Labo」機器 初心者セミナー

 光産業創成大学院大学

光産業創成大学院大学は、光技術を用いて新産業を創成する人材の育成を目的とした、起業実践コースと新規事業開発コースを有する博士課程のみの大学院大学である。学生定員は3学年30名、起業を志す方や所属企業から派遣された社会人が集い、会社の経営者も複数在籍している。2005年開学以降、同窓生の起業会社もIPOなどを視野に入れはじめ、大きく成長し始めている。

Tongaliで進められてきたFabLabにおいて、Photonics Laboratory (P-Labo) と称して光技術を用いた試作支援室を本学では設置している。これ

までの実践教育から、ビジネスの仮説・検証を素早く進めるための試作の重要性を鑑みた取り組みである。レーザー加工機、3Dプリンター、3Dモデリングマシンを整備し、運用している。

2024年度は、初心者向けに、実機を利用しながらの少人数セミナーを実施し、スタートアップのみなさんの試作がスムーズにスタートできるよう支援する。

The Graduate School for the Creation of New Photonics Industries

静岡大学

未来は自分たちで創る!

しずおかスタートアップキャンプ



学校の垣根を超えた仲間と、社会課題や誰かの困りごとを解決するビジネスプランを創り出す、高校生向け起業家人材育成プログラム「しずおかスタートアップキャンプ」が始動した。

今年度は、県教育委員会協力の下、県内全域から参加者を募り、開催日程も昨年度の4日間から9日間に大幅拡大するなど数々の新しい要素を取り入れた。

プログラムの主軸は7月末開催の2泊3日の合宿。中でも地元企業の視察では3つのコースに分かれて、スタートアップやNPO法人を見学し、農業や福祉などの現場に

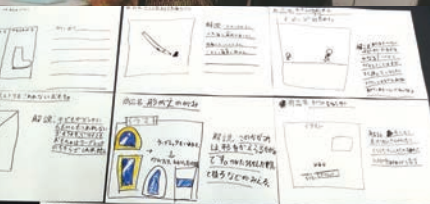
おける課題とその解決に挑む起業家たちの取り組みを直に学ぶことができた。さらに、県西部に本社を構える世界的企業の幹部や、若手起業家との対話会を実施し、仕事に対する熱量や起業という選択肢を身近に感じることができた。受講生からは、普段の学校生活では知り合えない仲間と夜遅くまで互いの考えを真剣に語り合う姿が見られた。

今後は9つのチームに分かれ、ミーティングやヒアリング調査などを重ね、秋の発表会に向けてビジネスプランをブラッシュアップしていく。



A. まちづくり団体の話を聞く受講生 / B. しずおかスタートアップキャンプ開講 / C. チームによるビジネスプランの検討 / D. 企業幹部との対話会

スタートアップ支援・URA室がスタートしました



浜松医科大学では、開学50周年を記念して2024年4月1日に「光医学総合研究所」を開所した。本学の特徴である光量子医学研究をジャンプアップすべく、分子、細胞から個体までの尖端的イメージング技術の確立とそれらを用いた未知の生命現象の解明、精神疾患等のアンメットメディカルニーズの病態解明と低侵襲的な診断法、効果的な治療法の開発を目指す。スタートアップ支援・URA室は、研究所の司令塔である光トランスレーショナルリサーチ推進部門に設置され、大学発スタートアップや起業家思想を持つ研究者、医師・医療従事者、

学生を増やすミッションを持つ。起業家・起業伴走人材の育成、資金確保、CxO人材やVC等とのマッチング、海外展開を推進する。起業家教育については、不足するコンピテンシー形成・社会実装ステージのプログラムを開発し、実務的な知識習得と実践力獲得を目指す。地域の産業界・自治体とも連携して、人材育成から起業準備・起業までのシームレスな都市型エコシステムの形成および発展を推進する。

- A. 起業人材育成プログラムにて最終発表を行う大学生
- B. 夏季児童保育プログラムにて実験結果から提案された小学生の商品アイデア
- C. PBLにて医療現場を見学する高専生

Hamamatsu University School of Medicine

豊田工業大学

時流に先んじて工学で社会変革を起こすイノベーション人材の育成



本学は豊田佐吉翁の遺訓「研究と創造に心を致し、常に時流に先んずべし」を建学の理念として掲げ、開学以来、先端的な工学研究を通じた新たな価値創造と社会への還元、実践的な技術者・研究者の育成に取り組んできた。

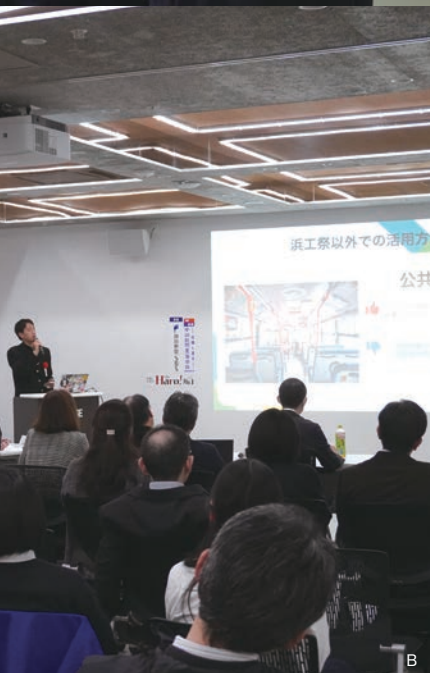
2022年度から Tongali へ加入し、今までに STATION Ai が提供する起業家育成プログラム「STAPS」への学生参加、オープンラボでの新事業・新産業創出に繋げるヒントを得るための特別講演会開催や学生の学外活動報告、2023年度修士課程1年生向けのアントレプレナー

シップ教育などを行ってきた。また、2023年度からは学内に Tongali コーナーを設置し、起業マインドや新事業への挑戦意識を高めるための書籍を配架すると共に、2024年度にはアントレプレナーシップ勉強会の開催や、起業家育成プログラム「STAPS」の最終ピッチ発表会の本学での実施を計画している。

本学は今後も社会変革を起こすイノベーション人材の育成と環境整備を進めていき、次世代の国際産業リーダー創出を目指す予定である。

A. 豊田佐吉翁が発明した豊田式木製人力織機の復元機 / B.C. 修士課程1年生向けのアントレプレナーシップ教育実施時の様子 (2023年度) / D. 2024年2月「STAPS」仮説検証講座/アイデア検討会での様子 / E. 2023年12月本学オープンラボでのトヨタ自動車(株)水素ファクトリー山形プレジデントによる水素事業に関する特別講演会の様子

高校生の柔軟で豊かな発想を活かして



静岡理科大学では、2013年より全国の高校生を対象としたアイデアピッチコンテストである、高校生「ものづくり・ことづくりプランコンテスト」を実施している。「こんなものを作りたい」、「こんなことをやってみよう」、「アイデアを『カタチ』にして売り出したい」など、高校生が考えるオリジナリティに溢れ、ユニークなアイデアを募集している。

昨年度は、全国各地の高校など62校から、590件のアイデアの応募があった。

最終審査会では応募書類の中から特に優秀な5件のアイ

デアについて審査員へプレゼンし、最優秀賞を目指す。

また、最終審査会では、審査員として参加いただいている地域企業の経営者から高校生に対して、「会社ってどんなところ?」、「起業って何をするの?」など、スタートアップの入り口となるような講演を行っている。

最終審査終了後も自分たちのアイデアが実現されるように、継続して取り組む学校もあり、本コンテストの受賞アイデアが社会実装される日が来ることを期待している。

A. 審査員からの質問を受ける発表者

B. 最終審査会におけるプレゼンテーション

Shizuoka Institute of Science and Technology

金城学院大学

アイデアをカタチに！ 新しい価値創造を目指す



金城学院大学は教育スローガンとして「強く、優しく。」を掲げ、あらゆる隣人に関心を持ち、社会問題を自分ごととして捉え、具体的な行動にうつすことができる人材の育成を目指している。本年度も、金城学院中学校、高等学校と連携をしながら、いくつかのプロジェクトを実施した。

中高大の垣根をこえて、生徒・学生が協働することで、リーダーシップ、コミュニケーション力、デザイン力、行動力が培われるのではないかと考える。実際に、異なる意見が混じり合うことで、今までにないユニークな

アイデアがたくさん生まれた。

具体的には、水族館・デザイナーとともに、ミュージアムグッズを提案するプロジェクト、本学院のグッズを提案するプロジェクトの実施である。どちらも、社会やターゲットに関する知識を深めたのち、テーマを掘り下げ、多様な人々と協働しながらアイデア創出を行うプロジェクトである。

金城学院大学は、これからも多様な人々と協働しながら新しい価値創造を行い、社会に世界に貢献できる人材の育成を行う。



A. 金城グッズ・プロジェクトでの分析作業/B. 金城グッズ・プロジェクトでのグループワーク/C. 金城グッズ・プロジェクトでの発表の様子

Kinjo Gakuin University

大学の知的資源を活かすため、 企業等と共同研究、産官学連携を推進



中部大学は、「不言実行、あてになる人間」を信条とし、豊かな教養、自立心と公益心、国際的な視野、専門的能力と実行力を備えた、信頼される人間の育成に努めている。2023年からTongaliに参加し従来から取り組んでいるスタートアップ、産官学連携及びアントレプレナーシップ教育をTongaliとの連携により充実させている。

2023年は、学部学生が「Tongaliビジネスプランコンテスト2023」及び「Tongaliアイデアピッチコンテスト2023」に参加し上位入賞した。中部大学としてこの学生の活動を高く評価し学内で表彰している。またベンチャーに関する規程を整備し中部大学発ベンチャーを初めて認定した。

2024年は、従来から開催している中部大学の研究シーズを地域に発信する「中部大学フェア2024」に学生の参加を呼びかけ、学生の研究を地域の企業、行政関係者等に紹介することにより来学者に中部大学の研究への理解を深め、学生のプレゼンテーション能力の向上にも努めたいと考えている。

博士前期課程の学生が履修する「持続社会創生教育プログラム (PEPS)」また博士後期課程の学生が参加する「次世代研究者挑戦的プログラム (SPRING)」の学生がブース出展及びポスター発表を行い日頃の研究内容を専門外の来学者にも分かり易く説明し、地域や企業の声を直接学生が聞く機会になるよう努めている。

A. 中部大学フェア特別講演
B. 中部大学フェア学生出展ブース
C. Tongaliで活躍する学生の中部大学フェア出展

Chubu University

名古屋外国語大学

世界へ羽ばたく ビジネスの翼を広げよう!



本学は「人間教育」と「実学」を建学の精神として、世界の多元性、多文化性に深い理解力を持ち、同時に批判的思考、共感性に優れた「世界人材 (World Human Resources)」の育成を目指している。

以前より「起業論」などの授業を通して、アントレプレナーの育成に取り組んでおり、2023年度にTongaliへ加入したことで、さらに以下の取り組みを強化している。

①企業連携科目「ビジネス・プランニング」

企業が直面する実際の課題に取り組むことにより、学生たちは大学での学びを実践するとともに起業家精神を養う。

②「起業・ビジネス研究会」

学生の自主性を重んじつつ、海外ビジネス経験を持つ

実務家教員からもアドバイスを受けることで実践的な学びを推進。

③「ビジネスアイデア・コンテスト」2024年度開催
起業に関心があるものの、なかなか“はじめの一歩”を踏み出せない学生向けのイベント。これを踏み台として学外のビジネスプランコンテストや実際の起業に向けて活動することが期待される。

今後も継続的にアントレプレナー教育を充実させ、海外ビジネスへはばたく人材を育成していく。



A. 留学生と交流するコミュニケーションプラザ/B. 企業連携科目「ビジネス・プランニング」で起業家精神を養う

Nagoya University of Foreign Studies

「あ！」が見つかる アントレプレナーシップ教育



2024年4月の開学記念シンポジウムを皮切りに始まった、アントレプレナーシップ醸成。学生がより親しみやすいよう、アントレプレナーシップを「新しいことにチャレンジする力」と定義し、正課外活動として各種の講座やイベントを開催している。まずは、親近感をもってアントレプレナーシップイベントに触れてもらうため、卒業生起業家を講師に招いての講座を毎月開催。“遠く”の成功譚・英雄譚ではなく、卒業生という“近い”存在こそが学生のアントレプレナーシップ醸成につながると手応えを感じている。さらに、実践編として、地元企業

が抱える課題解決に取り組むワークショッププログラムや、地元金融機関と連携した地域課題解決事業の支援等に取り組んでいる。

学生時代は、初めてのことで、新しいことの連続で、様々な機会に囲まれている。静岡県立大学では、そのような機会やきっかけの中から、学生が「あ！」と思ふものを捉え、一歩踏み出し、そして、やりきる力を養うためのアントレプレナーシップ教育の将来的な必修化を目指している。

A. 卒業生起業家を招いての「私の「あ！」が見つかる講座」
B. 企業と課題解決に取り組むワークショッププログラム
C. イベント開催場所：インキュベーションセンター「Kendai-Base」

University of Shizuoka

起業サークル「NKベンチャーズ」が スタートアップ創出に貢献！



名古屋国際工科専門職大学は、デジタル分野（AI・IoT・ロボット・ゲーム・CG）の専門職大学です。2021年開学の新しい大学で、特に実践教育に注力しています。本学でのアントレプレナーシップ教育は、起業サークル「NKベンチャーズ」が中心となって、明るく、前向きに、精力的に取り組んでいます。定例活動としては、①顧問教授による「起業講座」、②先輩学生による「起業活動報告会」、③外部講師を招いての学内アイデアソン、④学外ビジネスコンテストへの出場などがあり

ます。最近では、学外コンテストで受賞する学生も増えつつあり、「NKベンチャーズ」のメンバーも30名を超える規模にまで成長しています。また、本学発学生ベンチャーの第一号としてデザイン企画会社が事業をスタートしており、海外主要大学のアントレプレナーシップ養成プログラムに参加する学生も出始めています。今後は、起業サークルに加え、正課授業内でのアントレプレナーシップ教育をより一層強化し、東海圏のデジタル分野のスタートアップ創出に貢献していく所存です。

A. 起業サークル「NKベンチャーズ」の「起業講座」/ B. 起業サークル「NKベンチャーズ」の「起業活動報告会」/ C. D. 学内アイデアソン



大学共同利用機関法人発の イノベーションを目指して



A.大型ヘリカル装置LHD / B.アルマ望遠鏡

自然科学研究機構 (National Institutes of Natural Sciences: NINS) は、国立天文台、核融合科学研究所、基礎生物学研究所、生理学研究所、分子科学研究所と、機構直轄の2センターによって構成される大学共同利用機関法人である。保有する代表的な共同利用研究設備として、すばる望遠鏡、アルマ望遠鏡、大型ヘリカル装置LHD、極端紫外光研究施設UVSOR等がある。NINSは2004年の創設以降、主に大学研究者向けに大規模研究装置・設備を共同利用・共同研究として提供し、研究費の支援を含む先導的か

つ効果的な共同研究活動の実施によって日本の学術研究の発展に貢献してきた。その一方で、近年では研究成果の産業化にも取り組んでおり、例えばNINSに所属する研究者を対象に社会課題の解決や産業応用を志向したフィージビリティ・スタディを支援するギャップファンド「産学連携支援事業」を実施している。これまで「産学連携支援事業」では38課題を採択して年間200万円程度の研究費を支援し、NINS発ベンチャー等の成果を生み出している。

National Institutes of Natural Sciences

STATION Ai

10月開業！「STATION Ai」が 行うスタートアップ支援



A.GAPファンドプログラムSTEP2 事業化推進機関マッチングイベントの様子



STATION AiはTongaliの共同機関としてGAPファンドプログラム(ステップ2)の運営を担当。GAPファンドプログラム(ステップ2)では、本格的にスタートアップ企業の組成を目指すTongaliに参画している15機関に所属する教職員、学生(博士、修士課程相当の学生に限る)の研究者チームを対象として各種支援の提供をしている。プログラムにて提供する支援内容は主な内容は、事業化推進機関(ベンチャーキャピタル)とのマッチング支援、経営人材の採用支援、海外展開支援、実証

実験先の紹介支援、各種講演会やイベント機会の提供など、研究シーズの社会実装に向けた支援を幅広く行っている。

STATION Aiとは2024年10月に名古屋市鶴舞公園南側に開業した日本最大のオープンイノベーション拠点。スタートアップ企業が約500社(2024年10月時点)参画する企業コミュニティを運営。スタートアップとの協業や新規事業創出を目指すパートナー企業は約200社がコミュニティに参画している。

STATION Ai

Upcoming

次回予告

Tongaliに参画する大学は継続的に拡大している。次号Vol.7ではさらに今年度連携機関となった下記2校も登場し、各大学ごとのユニークな取組を紹介する予定である。



名古屋商科大学



名古屋経済大学
NAGOYA UNIVERSITY OF ECONOMICS

SUPPORTERS

大学発ベンチャー応援事業へ寄附のお願い

Tongali では、東海地域におけるスタートアップ・エコシステムの基盤形成の一つとして、学生に対するアントレプレナーシップ教育、起業家育成、研究・教育成果の事業化を目指す大学発ベンチャーの起業支援を行っております。これらの活動は、“Tongali” Tokai Network for Global Leading Innovation として、大学を飛び出し、行政や企業と連携しながら、社会に対するイノベーションの創発、地域活性、グローバル展開などに貢献しております。今後も、東海地域におけるオープンイノベーションの促進、およびスタートアップ・エコシステムの形成に向けて、アントレプレナーシップ教育、大学発ベンチャーの起業支援を推進してまいります。

ぜひ、ご賛同をいただき、寄附金としてご支援を賜りますようお願い申し上げます。

サポーター特典

	ダイヤモンド	プラチナ	ゴールド	シルバー	ブロンズ	エンジェル
Tongaliオリジナルグッズ・情報誌の贈呈	●	●	●	●	●	●
公式WEBでのロゴ掲載	●	●	●	●	●	●
情報誌でのロゴ掲載	●	●	●	●	●	●
アイデアピッチコンテストへの賞提供	●	●	●	●	●	●
ビジネスプランコンテストへの賞提供	●	●	●	●	●	●
情報誌・公式WEBへの特集記事の掲載	●	●	●	●	●	●
成果発表会招待	●	●	●	●	●	●
個別ワークショップの開催	●	●	●	●	●	●
成果発表会の個別開催	●	●	●	●	●	●



ご寄附の
詳細は
こちらから

坂 清子 様



日比野 三吉彦 様



DIAMOND

PLATINUM

GOLD

SILVER

Tongali サポーターに聞く、これからへの期待と起業家へのヒント。

SUPPORTERS INTERVIEW 01

—— Tongali の立ち上げ当初からサポートをいただきありがとうございます。まずは取り組みがスタートしたきっかけについて教えてください。

市村：もともと名古屋大学の知財部門との接点があり、あるタイミングで「Tongal という取り組みがスタートするのでサポートしていただけないでしょうか」とお誘いいただいたことがきっかけで今日の取り組みがスタートしました。当社としても将来有望な企業を早期に発掘し長期的な関係を築いていくことは非常に重要ですので、早い段階から起業家の方々と接点を持てるという点は大きな魅力でしたし、アイデアの段階から学生起業家と関わることで彼らの成長を見守り、必要な時に適切なサポートを提供できる役割を担えたらとの思いもありました。

山野辺：大学には素晴らしい研究技術がたくさんあるものの、それらを事業化しようという流れが生まれてきたのはここ最近のこと。私が Tongali の取り組みを知ったのは今の部署に移ってからですが、外部から人材を連れてくるのではなく「自前で起業家を育成する」という Tongali の姿勢に共感しました。

また、Tongali との連携は地域貢献という側面も大きいと感じています。名古屋大学は東海エリアでのプレゼンスが非常に高いですし、Tongali にはこの地域を代表するような企業が

サポーターとして参加していますので、そういった企業とのつながりは私たちにとっても価値があると考えています。

市村：これまでもさまざまなアイデアピッチやビジネスプランコンテストに参加させていただきましたが、毎回、学生たちの発想力やプレゼンテーション能力の高さには本当に感心させられます。特に、私たち大人では思いつかないような、斬新なアイデアから刺激を受けることが多いですね。「大和証券賞」の選考時には「対象とするマーケットの大きさ」を重視していますが、ビジネスとしての可能性のみならず、学生たちの熱意や独創性も大切にしています。

アイデアピッチの審査員として初めて参加したときのことは、今でもよく覚えています。学生たちの熱量の高さに驚かされ、いつの間にか自分が忘れていたものを思い出させてもらった気持ちになりました。どの学生も、ピッチ直前まで緊張していてもいざ本番となると堂々とふるまっており、みなさんの真剣さにいつも胸を打たれています。

——大和証券が手掛けているスタートアップ支援について教えてください。

山野辺：例えば、大企業とスタートアップ企業のビジネスマッチングイベント「大和イノベーションネットワーク」もそのひとつです。2013年のスタート以来これまでの開催は130回以上を数え、のべ700社以上に登壇いただいています。スタートアップ企業にとっては自社の技術やサービスを大企業にアピールする機会として、大企業にとっては、最新のイノベーションに触れ、新規事業の種を見つける機会として活用いただいています。

市村：名古屋大学とのつながりを生かし、昨年は「名古屋大学発ベンチャー特集」と銘打って6社の名大発ベンチャーに登壇していただきました。この地域ならではの優れた技術やアイデアを全国に発信するいい機会になったと思います。

山野辺：もちろん、IPOを見据えたベンチャー企業へのコンサルティングやIPO後のサポート、成長資金の調達も、私たちに求められている重要な役割です。当社は、グループ企業である「大和企業投資」をはじめ国内外のベンチャーキャピタルと強いネットワークを築いていますので、それらを生かした成長資金獲得支援

大和証券株式会社 名古屋法人部 副部長

市村 真敬 氏

PROFILE

北海道大学法学部卒業。2002年大和証券入社。マーケット部門にて自己ポジションの株式売買や機関投資家向けの株式営業を担当し、2011年から未上場企業のIPOカバレッジ業務を担当。多くの主幹事企業のIPOをサポート。2022年4月より名古屋法人部にて引き続き未上場企業を担当。



PROFILE

慶應義塾大学商学部卒業。2002年大和証券入社。蒲田支店にて個人営業に従事後、2004年から事業法人部にて上場企業向けのカバレッジ業務（資金調達、M&A、IR提案）を担当。2022年4月に名古屋法人部へ異動し、2024年10月より現職。

大和証券株式会社 名古屋法人部長

山野辺 聡 氏



“多くの企業とのつながりを、スタートアップ支援にも。”
学生の視点から生み出される新たなアイデアに期待。

は私たちの強み。また、2022年にはオープンイノベーションを推進するチームが発足し、スタートアップ企業との連携を通じた新事業開発や既存事業の強化の可能性を探求しています。

市村：最近では、IPOという選択肢のみならずM&Aを通じた成長戦略も重要になってきており、それに関連したアドバイザリー業務もおこなっています。ベンチャー企業のオーナーが株式をファンドや大企業に売却するといったEXITの形も増えてきていますね。

――今後Tongaliに期待することは。

山野辺：私は次回のアイデアピッチがTongaliイベントへの初参加になります※。個人的には、私たちとは違う角度から見た学生の着眼点や発想、考え方から、自身の仕事やお客さまに役立つヒントを見つけられることを期待すると同時に、若い方たちの価値観・感覚を知る絶好の機会だとも捉えています。最近では自分自身が世のトレンドから遠ざかっているように感じているので、いろんなビジネスアイデアに触れながら、今の若い方たちが感じている社会課題やビジネスチャンス、新しい気づきを得られたらうれしいですね。

名古屋のスタートアップは、他エリアよりも技術開発・製品開発を得意とする企業が多い印象を抱いています。「モノづくり」への情熱は、製造業の伝統が根付いているこのエリアの特色のひとつだと思いますので、これからもぜひ伸ばしてほしいと願っています。

※2024年10月取材時

市村：Tongaliの大きな目的は起業家を育成することだと思いますが、一方で、最終的に起業にまで至らずとも、学生時代に起業やビジネスモデルについて真剣に考える経験を積むことは、その後の人生においても非常に有意義だと感じています。例えば、Tongaliなどのプロジェクトを通じてアントレプレナーシップマインドを育んだ学生がまずは一般企業に就職して研鑽を積み、新たな武器とアイデアを持って名古屋で起業する、というような事例にも期待したいですね。

――Tongaliが掲げているのは「起業家教育」ではありますが、「企業家教育」でもあると思っています。キャリアの選択肢が広がっている現代において、学生たちにはぜひ「企てる力」を身につけ、大きな武器として活用してもらえたら、と。

市村：素晴らしいですね。もうひとつ期待することとしては、サポーター企業の横のつながりの強化です。もちろんアイデアピッチやビジネスコンテストなどサポーターのみなさんと顔を合わせる機会はあるのですが、もっと深く情報交換ができる場があると嬉しいなと感じています。例えば、各社がどのような基準で企業賞を選んでいるのか、どんな視点でスタートアップを評価しているのか。そういった情報を共有することで私たち自身も新しい視点を得られるように思いますし、各社の強みを活かした支援の方法など、Tongaliに参加している学生たちに還元できるアイデアが生まれるかもしれません。

山野辺：たしかに、名古屋をはじめ東海エリアの企業間のつながりの強さは特筆すべき点だと思います。私自身、東京から名古屋に異動したときにまず驚いたのは、同業種にかかわらず、さまざまな立場の人間がフラットに意見交換できる関係性ができていること。Tongaliを通じてそうしたネットワークがさらに広がるならば非常にありがたいですね。

市村：また、私たちが審査するアイデアが初期段階からどのように成長していったのか、決勝で発表される内容に至るまでの過程にも興味があります。「このようなアドバイスをもてここう変わった」「ブラッシュアップの途中でこうした課題に気がついた」といったストーリーを共有できれば、新たに起業をめざす学生たちにもいい影響を与えられるのではないのでしょうか。

山野辺：ひと昔前と比べて起業のハードルは下がったものの、もちろんすべてのビジネスが成功するわけではありません。けれども、横のつながりが強く協力者や支援者を見つけやすいといった点は、このエリアの大きなメリットだと感じます。私たち大和証券も、スタートアップと大企業を繋ぐハブとしての役割をはじめ、当社の強みを活かしながらイノベーション創出に貢献していきたいと考えています。Tongaliやほかのサポーターのみなさんと一緒に名古屋のスタートアップエコシステムを育てていけること、独自の価値を生み出していることを楽しみにしています。

Tongali サポーターに聞く、これからへの期待と起業家へのヒント。

SUPPORTERS INTERVIEW 02

―― Tongali の窓口となっている事業推進本部はどんな役割を担っているのでしょうか。

林：事業推進本部は、JR東海グループが運営する商業施設の管理、DX推進、環境保全への取り組み、その他地域創生の取組みなど「鉄道事業とは別軸で新たな収益源を獲得するための事業開発」をおこなっています。そうしたなかで私が所属する「事業開発・EC」は、ECをベースとした新規事業創出を担当しており、新しい事業や繋がりを生み出し、会社の未来に貢献することを期待されています。

具体的な取組み例としては、2022年2月に立ち上げたJR東海のECモール「JR東海MARKET」が挙げられます。当プラットフォームは、駅やホテルの人気商品やオリジナル鉄道グッズなどを取りそろえた多彩なオンラインショップが集うショッピングサイトとなっており、JR東海グループはもちろんのこと、外部の事業者様にもご参画いただいております。

―― Tongali との具体的な取り組みについて教えてください。

林：Tongali との連携は約3年前から開始しており、アントレプレナー教育支援の一環として、各種ピッチコンテストにおける企業賞の協賛を行っています。受賞者には、名古屋駅コンコースでのイベント実施機会の提供や、JR東海MARKETでのショップ開設・商品販売支

援を約束しており、2022年には若手アーティストを支援する「artkake (アトカケ)」を、2023年には日本の農産物を世界に発信することをミッションに掲げる「Umai Japan」をJR東海賞に選出しました。

―― 学生やスタートアップ企業との連携は、Tongali に参画いただく以前から積極的だったのでしょうか。

林：弊社ではかねてより名古屋大学をはじめとした各大学と共同研究を数多く手掛けてきましたが、近年、スタートアップ企業との連携を積極的におこなう機運が高まっています。幅広いジャンルの起業家と交流する機会が増えていることは、弊社にとって非常に有益だと考えています。

―― そうした機運の高まりについては、なにかきっかけがあったのでしょうか。

林：はい。その最大のきっかけは間違いなく、2020年に起きた新型コロナウイルスの流行でした。コロナ禍において国や自治体の要請に基づく移動制限が頻繁におこなわれたことは、当社にとって大きな転換点だったと捉えています。長らく新幹線事業が生み出す収益

に大きく依存してきた当社が突然「人々の移動が制限される」という状況に直面したことは、会社として事業のあり方を見直す契機となりました。もちろん、JR東海は鉄道会社であり、その根幹は変わりません。鉄道会社として、三大都市圏を結ぶインフラ事業者として、さまざまな挑戦を継続すると同時に、非鉄道事業の重要性も社内で強調されるようになりました。

このような背景から、当社では、2032年までの10年間の取組み方針である「グループビジョン2032」を策定しました。このビジョンのもっとも大きな目標は「10年でグループの利益を倍増する」ことであり、そのためには従業員一人ひとりが挑戦し、実践し続けるとともに、沿線都市と移動の価値を高めて人々の生活を豊かにすることが必要だと考えています。新たなビジョンの達成に向けて、「自己変革」「連携・地域密着」「DX（データに基づく顧客理解/事業変革）」の3つを重要なドライバーと位置づけています。特に「連携・地域密着」の実現においては、Tongali との連携が不可欠であり、ビジョン達成に向けた重要な取り組みの一つとなっています。

PROFILE

2019年に東海旅客鉄道株式会社（JR東海）入社。関西支社人事課（採用・労務管理）、中央新幹線リニア建設部（企画）業務を経て、2023年7月から現職。ECサイト「JR東海MARKET」を基軸とした新規事業開発を手掛ける。



東海旅客鉄道株式会社
事業推進本部（事業戦略、事業開発・EC）主任

林 大介 氏



“沿線都市と移動の価値を高め、企業価値の向上を目指す。” スタートアップ支援で地域連携の強化を。

――新たなビジョンの策定によって感じる変化はありますか。

林：具体的な変化としては、意思決定のスピードが格段に上がったと感じます。特に事業推進本部においては、新しいアイデアに対して「先ずはやってみよう」という姿勢が強くなりました。事業推進本部長は副社長も兼任しており、「おもしろそうな話があれば遠慮なくどんどん持ってこい」と、新しいアイデアに対してオープンな姿勢で接してくれており、その結果、以前よりも新しい取り組みを実行に移す際、意思決定のスピードは格段に上がりました。たとえば、先に紹介した「学生スタートアップの商品を自社ECで実際に販売してみる」といった試みも、以前は実現までにより時間がかかっていたかもしれません。

このような変化は、事業推進本部だけでなく、グループ全体にも浸透しています。多くのメディアで取り上げられた「東海道新幹線 貸切車両パッケージ」や「世界の山ちゃん 名古屋駅1番線店」などは、現在のオープンな職場の雰囲気から生まれた企画です。鉄道会社としてお客様の安全を確保しつつ「持っているリソースのポテンシャルを高めるために何ができるか」という視点が、あらゆる場面で求められていると感じます。

――Tongaliにとっても、JR東海が持っているリソースは非常に魅力的です。

林：メインの鉄道事業だけでなく、20を超える

グループ会社とそこに付随する多様なリソースは間違いなく当社の強みですが、まだまだ活用しきれていないものも多いと感じています。そのため、Tongaliをはじめとする学生やスタートアップ企業と協力して新しい試みを広げていきたいと考えていますし、みなさまには、「自由な発想でJR東海を楽しんでほしい」と伝えたいですね。

また、最近の新たなトピックスとしましては、2024年3月、神奈川県相模原市のJR橋本駅前に当社初のイノベーション創出促進拠点である「FUN+TECH LABO（ファンタステックラボ）」をオープンしました。このプロジェクトは、リニア中央新幹線の神奈川駅（仮称）の周辺まちづくりに参画しているつながりをもとに実現したものです。同拠点では、神奈川県、相模原市、企業、大学などと連携しながら、地域の方々より良い暮らしにつながる「イノベーション」を体感できるようなイベントや実証実験を開催しています。今後はTongaliとの共創機会はもちろんのこと、当社の広範なネットワークを活用し、三大都市圏にまたがる起業家支援なども実現できればと考えています。

――今後もいい取り組みを継続できるよう、こまめに情報共有させてください。

林：今年のビジネスコンテストでは、AIを活用して落とし物を可視化し、管理のしやすさとお客様の探しやすさの両方を実現するアイデアを提案したチームにJR東海賞を授与しました。このアイデアは鉄道事業と深く関連しています

ので、すぐを実現することは難しいかもしれませんが、ただ、Tongaliとの連携を通じて、このような新しいアイデアが既存事業にも波及していくような可能性を示すことができたらと考えています。

――「東海道新幹線 貸切車両パッケージ」の事例を聞いて思いついたのですが、新幹線でビジネスコンテストやアイデアピッチをおこなう…といった企画はどうでしょうか。脱落者が途中下車したり、新たな挑戦者が途中乗車するのも盛り上がるかもしれません。

林：それは非常におもしろそうですね！車両ごとにイベント専用としてご利用いただけますのでアイデア次第で実現可能です。音響設備や車内ディスプレイのオプションもご用意していますし、複数の車両を貸し切り控室として使用することもできます。ぜひまた相談しましょう。

Tongaliとの連携をはじめ、このようなユニークなイベントは「新しいJR東海」を発信するよい機会になるはずで、当社に対して従来のイメージを持っている方々に対しても「柔軟で」「革新的な」企業に生まれ変わったというメッセージを引き続き打ち出していけたらと考えています。ともに東海エリアを盛り上げていきましょう！



MOETO
YAMAUCHI 01



02 MIDORI
SHIRAISHI

学生時代の経験を生かして事業化した東海地区の起業家たち。

ベンチャーならではのアプローチで世の中を、
よりよいほうへと導いていく。

Writer: 石原由加里 Photographer: 山本章貴

STARTUP INTERVIEWS

株式会社 Gab (ガブ)

「エシカル消費」と「ゴミ拾い」の二軸で「社会課題解決のハードルを下げる。」に挑む株式会社 Gab。創業以来、環境保護や社会貢献を「特別なこと」から「日常の楽しみ」へと変革する取り組みを展開している。経営目的は「ありがとうの最大化」。投資家からも大きな注目を集めている。



社会にあふれる
さまざまな課題を
おもしろがりながら
解決したい。

――事業内容を教えてください。

山内：まずひとつ目は、エシカルブランドのプラットフォーム「エシカルな暮らし」です。「日本を世界一のエシカル消費先進国にする。」をビジョンに掲げ、Instagramアカウント「エシカルな暮らし」と、国内最大級のエシカルショップ「エシカルな暮らしオンラインストア」、有楽町マルイの常設店舗「エシカルな暮らしLAB」を運営しています。

もうひとつは、清掃活動にゲーム要素を取り入れたイベント「清走中」の企画・運営です。スマホアプリを活用したポイントシステムとチーム対抗形式による競争要素を組み合わせることで、楽しみながら環境保護活動に参加できるというエンタメ性が評判を呼び、自治体や企業からお声がけいただき全国各地で開催しています。

――これらの事業はどのように生まれたのでしょうか。

山内：実はどちらも、試行錯誤しながら誕生したものなんです。

もともと Gab は、渋谷のポイ捨て問題から着想を得た「街のゴミ箱の側面に広告枠を設けて収益化する」というアイデアを実現するために立ち上げました。しかし2019年12月の設立後、すぐさまコロナ禍となり街中がロックダウン。ゴミどころか人も街にいない状況が長く続き、ゴミ箱を1つも設置しないまま、会社は危機的状況に陥りました。新しい事業を模索するなかで、「ゴミ箱の設置にこだわっていたけれど、ゴミそのものをなくせばいいのでは」「これだけゴミの問題が蔓延しているということは、

現代のモノの作り方や売り方、消費者の意識に問題があるのでは」と気づき、たどり着いたのが「エシカル」という考え方でした。まずはエシカル商品を紹介するメディア運営からスタートし、オンラインストア、POP UPストア、常設店舗へと広がっています。

エシカル商品のよさは「手に取ってみないとわからない」部分がすごくたくさんあります。

POP UPストアや常設店舗では「インスタで気になっていたけど実際に見てみたくて足を運びました」という声が多く、「ブランドストーリー」と「商品としての魅力」の両方をしっかり届けることが非常に重要だと感じていますし、商品紹介を通じた社会課題の発信も僕たちの役目のひとつだと思っています。

最新の取り組みとしては現在、静岡の中山間地域での地方創生事業を進めています。3つの源泉と旅館街がある地域で、温泉熱を利用したコーヒーフームの開発や、お茶からレザーを作るアップサイクル事業など、地域資源を活かした新しい取り組みを始めています。また、自社ブランドの立ち上げもスタートしました。クリエイターと組んでデザイン性の高い商品開発をおこなっており、エシカルであることを前面に出すのではなく、エシカルと知らずとも、デザイン性・機能性で選ばれる商品を目指しています。「清走中」は、当時高校生だったメンバーが個人で開催したイベントがベースになっています。ゲームとゴミ拾いを組み合わせるといった斬新なアイデアに可能性を感じ、彼が大学に合格してすぐに Gab の一員として迎え入れることを決めました。環境保護を「やらなければならないこと」から「やりたくなること」へと変える彼の

ビジョンは僕たちの目指す方向性と完全に一致していましたし、今や、Gab という会社らしさがかたちづくってくれる重要な事業のひとつとなっています。

――山内さんが目指す未来とは。

山内：休学前に参加したシリコンバレー研修で「人類の存続に must have な事業をする」という考えに触れたことが、現在の Gab のミッションである「社会課題解決のハードルを極限まで下げる。」につながっています。

そもそも、「社会課題の解決なんてうさぐさい」と思っている人は多いと思うんです(笑)。なんだか意識高くして近寄りたそう、とか。だからこそ僕はこれからも「正しさ」ではなく「楽しさ」を重視していきたいし、環境問題に詳しくなくても楽しみながら社会貢献できる仕組みをつくることで、参加者の輪はどんどん広がるはずだと信じています。そして最終的な目標は、サプライチェーン改革の実現です。エシカル商品の需要拡大を通じて、企業の素材調達から製造・流通方法を変革していきたい。究極、消費者が何も考えずとも全購買行動が社会課題解決につながる世界の実現が理想です。現在は「エシカル消費」「ゴミ拾い」など社会課題解決に直結する事業に取り組んでいますが、パーパスに掲げている「ありがとうの最大化」を実現できる事業はまだまだまだたくさんあるはずですし、新しい領域にもどんどん飛び込んでいきたいと思っています。次の Gab の挑戦を楽しみにしててください！

株式会社 Gab(ガブ) 代表取締役 CEO 山内 萌斗 氏

2000年2月生まれ、静岡県浜松市出身。静岡大学情報学部行動情報学科2年次中退。東京大学起業家育成プログラム EGDE-NEXT2018年度シリコンバレー研修、株式会社タイミー主催のビジネスコンテスト PopOut を経て、2019年12月に株式会社 Gab を設立。



働くことは
生きることに。
職場も人も
どちらも大切。

株式会社SNOM (スノーム)

個人と組織の両面からメンタルヘルスをサポートするSNOMの特長は、机上の理論ではなく現場に入り込む「現場主義」。職場や個人に合わせた改善提案と同時に、「働く」「稼ぐ」という行為そのものが精神安定につながるの考えのもと、働きやすさや休職者の減少につなげている。

――起業のきっかけは。

白石：愛知学院大学の心身科学部に入学し、どうせならいろんな授業を取ろうと企画論・事業計画論の授業を履修しました。授業のなかで、看護師として感じていた「心のケアの重要性」と「現場での限界」、そこから考えていた「より多くの人を支援する方法」をプランにまとめたところ担当教授にビジネスコンテストへの応募を勧められ、まさかの入賞。その後もいくつかのコンテストに参加し、「入賞した者は起業すること」との条件を掲げていた東京都の「学生起業家選手権」に入賞したことを機に、SNOMを立ち上げました。

そもそも大学に入学した理由は、心のケアについての専門的な知識が必要だと思ったから。病院で働いていたころからずっと「患者への心理的サポートが足りていない」との課題を感じていたのですが、育休から戻っても状況は変わっておらず、自分から何かを変えるにはまず専門知識を身につけなければ、と思ったんです。一方で、企画論を学ぶうちに気がついたのは、私個人ができる範囲には限界があるということ。授業を通じて、より多くの人を助けるためには「企画」が必要なのだ気づくことができました。…でもまさか自分が起業するとはまったく思っていなかったのですが（笑）。

――対象を医療現場から産業界へとシフトした背景は。

白石：学生起業家選手権の入賞後1年間、起業

に向けた準備期間がありました。そのなかで「病院という仕組みにおいて外部機関が支援することは制度上難しい」ことが判明。どうしようかと悩んでいたときに心理学の教授から「患者さんは普段どこで生活してると思う？」と問われ、多くの人の生活のほとんどは「職場と家」にあると気がつき、まとめていた内容を産業界に向けた企画として練り直しました。ちょうどそのころは日本でもEAP（従業員支援制度）の導入が進んでいた時期でしたし、SNOMを立ち上げた2013年は、政府が「健康経営」を提唱した年。その後ストレスチェックが義務化^{*}するなど従業員の健康を経営的視点から考える機運が高まっており、周囲からも「この事業は今後ますます求められるはず」と評価をいただきました。

^{*}従業員50人以上の事業場を有する企業

――SNOMの「現場主義」はどのように生まれたのでしょうか。

白石：契約一社目の取引先企業と一緒につくったプランが、今のSNOMのベースになっています。毎日のように複数の現場に足を運び、当時の担当部長には本当に部下のように指導していただきました。現場の実態を知り、互いに意見を出し合いながらプランをつくり上げていく。そういった「現場主義」の大切さを、身をもって学ばせていただけたことに感謝しています。

今も新しく取り引きを始める企業へは実際に現場に足を運び、本当の意味での「働く環境」を観察するところから始めます。例えば、ゴミ

収集の仕事では収集場所のすべてを回ったり、工場ではトイレや休憩室もチェックしたり。現場の実態を知らなければ、必要な支援はできません。

そして一番大切なのは「働く」に焦点を当てること。WHOが掲げる健康の定義にも、働くことは精神的健康の重要な要素として含まれていますし、収入を得て経済的な安心を得ること、社会とつながり役割を持つことは、自己肯定感の醸成や精神的な安定に大きな効果を発揮します。看護師時代、病のせいで働きたくても働けず、メンタルに不調をきたしてしまった患者さんをたくさん見てきました。だからこそ休職や退職になってしまう前に食い止めたいし、「働く」ことを簡単に諦めてほしくないと思っています。

――今後の展望は。

白石：SNOMでは、人事経験者や公認心理師、精神保健福祉士、保健師、カウンセラーなど、専門性を持った方々が働いてくれています。現場重視の姿勢を理解し、時には血生臭い現実にも向き合える。そういう覚悟を持った人を探すのは簡単ではなく、だからこそ、今いるスタッフは本当に貴重な存在です。

とはいえメンタルヘルス支援の需要は年々高まっていますので、次世代の支援者の育成は急務。現在、看護領域を取り入れた心理支援の教育プログラムの作成を進めており、将来的には支援者育成に活用できればと考えています。でもやっぱり基本は「いま目の前にいる人を支援すること」。地道に、一つひとつの現場で、働く人と組織の活力を支えていく。それが私たちの使命だと考えています。

株式会社SNOM(スノーム) 代表取締役 白石 みどり 氏

愛知県豊川市出身。看護師として救命救急や終末期医療に従事するなかで心のケアの重要性を痛感し、30歳で愛知学院大学心身科学部心理学科に入学。在学中にビジネスプランコンテストで受賞し、2013年SNOMを設立。1男2女の母。



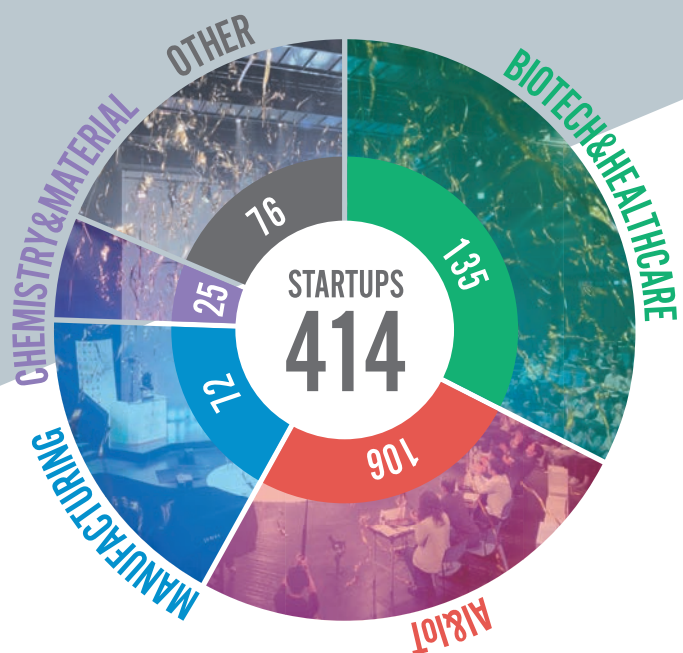
KNOCK-KNOCK STARTUPS

とっきんとっきんな

大学発スタートアップに出会おう！

大学発スタートアップは、革新的な技術やビジネスモデルを基に、世界に向けた新しい価値の提供にチャレンジしている。それぞれの技術やビジネスモデルの未来への貢献を想像すると、右下に示した数字以上の価値が見えてくる。また、社会的な信用の一つの指標として、大学発ベンチャー称号授与制度を設けている大学もある。

ぜひ、東海地区発の“とっきんとっきん”な大学発スタートアップの扉をノックし、未来に繋がるビジネスを体感してほしい！





株式会社
ヘルステックシステムズ

郵送検査事業、バイオマーカー・検体検査技術の研究開発、機能性食品の研究開発

名古屋大学



株式会社
PREVENT

生活習慣病既往者向けのIT技術を介した健康づくり・重傷化予防事業

名古屋大学



株式会社J-ARM

動物再生医療用細胞培養キットおよびシステムの開発・販売、培養トレーニング、培養器機の販売

名古屋大学



株式会社
フレンドマイクロブ

微生物を利用した廃棄物・排水の処理および廃棄物の有用物質変換

名古屋大学



合同会社
BeCellBar

化合物によるタイトジャンクションバリア緩和・強化技術の提供と化合物探索支援

名古屋大学



iBody株式会社

独自のEcobody技術を用いた治療薬・診断薬・試薬向けのモノクローナル抗体開発

名古屋大学



グランドグリーン
株式会社

ゲノム編集技術や先端育種技術、AIを用いて変化する環境に適応する作物を迅速に開発

名古屋大学



株式会社BioCMOS

半導体集積回路および回路基板の設計・製造、ファームウェアの開発

名古屋大学

NU-Medライフケア
システムズ株式会社

医療、福祉、健康を支えるソフト・ハードウェアの研究開発と、実証・実験フィールドの提供

名古屋大学



LaView株式会社

家庭で「血管を診る」ことを実現

名古屋大学



Craif株式会社

予防と早期発見に繋げる痛みのない高精度ながんリスク検査「マイシグナル」の提供

名古屋大学

株式会社Craftide

タンパク質、ペプチドの化学合成による創薬

名古屋大学



メドリック株式会社

メディカル業界向けデバイス、プラットフォームの開発・提供

名古屋大学



株式会社
Meis Technology

間葉系幹細胞破砕液を用いた人・動物向け応用製品の開発・販売

名古屋大学



株式会社
iCorNet研究所

重症心不全患者に対するテラーメイド方式心臓サポートネット治療の事業化

名古屋大学



レアバリエント
株式会社

疾患ゲノムの解析によるスクリーニングプラットフォームの構築にむけた環境整備と関連技術の開発

名古屋大学



クアドリティクス
株式会社

リアルタイム心拍変動 (HRV) 解析技術によるヘルスケアサービス

名古屋大学



Dアミノ酸ラボ
株式会社

D-アミノ酸、D-アミノ酸関連酵素並びにD-アミノ酸関連微生物の研究、製造及び販売

名古屋大学

株式会社
マトイセラピューテクス

細胞療法を用いた癌治療研究開発

名古屋大学

MILAI株式会社

食事療法アプリの開発、管理およびライセンス

名古屋大学

Crafton
Biotechnology
株式会社

有効で安全なmRNA医薬品の開発、製造、販売、使用許諾

名古屋大学



合同会社
NaturalChem

動植物に含まれる機能性成分の探索、分析、開発、製造、販売。研究用動植物機能性成分の受託製造及び販売

名古屋大学



株式会社
ジーシーサイエンス

「セルフメディケーション」をコンセプトに、予防、検査、療養を自身で行うための手助けとなる製品を提供

名古屋大学



イルミメディカル
株式会社

光が届かず光治療のできなかった体内深部など、全身に光を届けるシステム、デバイスの開発

名古屋大学



株式会社Quastella

細胞画像解析技術を基軸とした細胞品質管理システムの開発販売事業。今よりもっと細胞製品が身近な存在となることを目指します。

名古屋大学



株式会社
セルターゲット・メディカル

PiggyBacトランスポゾン法を用いた遺伝子改変技術により、各種疾患の治療法・治療薬の研究開発を行うことを目的とする

名古屋大学



株式会社TOWING

農業関連商品の企画、開発、調査、立案及び販売並びにそれらに関するコンサルティング

名古屋大学

株式会社Demeter Ceres

作物のバイオマスや搾汁液を原料としたエネルギーや飼料生産を普及させるため、名古屋大学発新品種の種子販売事業などを行う

名古屋大学



株式会社
MEDICOLAB

神経変性疾患の判定や病状測定を行うプログラム医療機器の開発、医療機器事業の医療事業コンサルティング。

名古屋大学



ゾーム株式会社

独自に開発した幹細胞技術をもとに、間葉系幹細胞・幹細胞加工物に関する製造、開発、販売、コンサルティングを行う

名古屋大学



株式会社UBeing

味覚調整デバイス umaiNa を利用し減塩食等も美味しく、食事が健康で美味しい社会を実現する

名古屋大学



株式会社
アロマビットシリコン
センサテクノロジー

超小型、低コスト、高ニオイ解像度を実現するシリコンCMOS型次世代ニオイセンサーを開発・事業化する

豊橋技術科学大学



**PLANT DATA
株式会社**

植物の生体情報の計測と、そのデータを栽培管理に活かすためのサービスを提供しています。

豊橋技術科学大学



**株式会社
豊橋バイオマス
ソリューションズ**

メタン発酵—バイオガス発電などのバイオマス活用事業における計画立案・基本設計に役立つ工学的なコンサルティング業務

豊橋技術科学大学



合同会社サイナルジ

薬類を用いた新しい製品やサービスの提供を通じて、人々の生活をより豊かにすることを目指しています

豊橋技術科学大学



**有限会社
ピコデバイス**

汗・皮膚ガス分析

名古屋工業大学



**ORTHOREBIRTH
株式会社**

医療品等（人口骨）の研究開発・販売

名古屋工業大学



**合同会社
neuro pick**

医療ツーリズムプラットフォームの開発・運営

名古屋工業大学



**株式会社
食とつながり**

産前産後、乳幼児期の両親に伴走するサービスの提供

岐阜大学



**株式会社
e-NA Biotec**

新規核酸医薬品等の分子設計・合成に係るコンサルティング業、知的財産及び特許の管理

岐阜大学



株式会社GF・Mille

医薬品、医療用及び医療外試薬類、食品添加物等各種薬品の製造、販売及び輸出入事業

岐阜大学



GRC株式会社

放射線診療に関する技術指導・コンサルティング事業、遠隔画像診断

岐阜大学



**エーエムアール
株式会社**

分析機器の販売業務、システムの最適化や研究ソリューションの提案

岐阜大学



**株式会社
マスターオブ
サイエンス**

先端科学技術開発に関するシーズ育成事業、シーズ評価、製品戦略コンサルタント

岐阜大学



**有限会社
メディカル愛**

医療用・出版用メディカルイラストレーションの制作及び販売・レンタル

岐阜大学



**長良サイエンス
株式会社**

研究用試薬の製造販売、注文試薬の生産、受託研究

岐阜大学



**一般社団法人 東海
マスクリーニング
推進協会**

先天性代謝異常症及び先天性免疫不全症などの希少疾病の治療と診断に関する調査及び研究

岐阜大学



**株式会社しずい細胞
研究所**

細胞の品質・流通管理システムの開発

岐阜大学



**株式会社
GIFU EXOSOME**

細胞外分泌小胞（EV）の測定及び試薬の製造及び販売、EV含有食品等の製造及び販売

岐阜大学



株式会社 OhGooD

低酸素・低糖処理（OGD 処理）細胞製剤の研究開発、特許管理

岐阜大学



**株式会社
Gifu BioPharma**

人工核酸の考案・作製、核酸医薬の創成

岐阜大学



**ユナイテッド・
イムニティ
株式会社**

がん免疫療法を中心とする医薬品の研究・開発・製造・販売

三重大学



MZT株式会社

ゼブラフィッシュによる医薬品開発支援事業

三重大学



バイオコモ株式会社

バイオ医薬品及びバイオ製品の開発

三重大学



**うれし野アグリ
株式会社**

房どりミニトマトの生産および販売

三重大学



**株式会社
機能食品研究所**

食品、化粧品等の臨床試験の受託

三重大学



**株式会社
デ・ウエスタン・
セラピテクス研究所**

プロテインキナーゼ阻害剤を中心とした新薬開発

三重大学



**ティーセルヌーヴォー
株式会社**

CAR-T 細胞療法によるがん治療のための医薬品の研究・開発・製造・販売

三重大学



**オーガノサプリ
株式会社**

食物から抽出した物質によるサプリメントの開発、販売

三重大学



株式会社 OVUS

ゲノム、遺伝子、染色体に関する検査や研究の受託

藤田医科大学



**MabGenesis
株式会社**

医薬品領域（ヒト、動物）における新規治療用抗体創出事業

藤田医科大学



**ジェノクス
株式会社**

疾病リスク判定や治療薬選択の指標の提供等のサービス

藤田医科大学



株式会社 バイオシスラボ

プレ・プロバイオティクスを基軸としたサイエンスコミュニケーション事業推進サポート

藤田医科大学



株式会社 キャンパス

抗癌剤の研究開発

名古屋市立大学



**有限会社
胎児生命科学センター**

遺伝性疾患の出生前診断

名古屋市立大学



**株式会社
蛋白質科学研究所**

標的タンパク質の活性を阻害するペプチドの受託設計

名古屋市立大学



**株式会社 チャネロ
サーチテクノロジー**

創薬研究及びイオンチャネル創薬ツール販売と受託研究

名古屋市立大学



**株式会社
ハートビート
サイエンスラボ**

生体信号の計測、処理、解析事業

名古屋市立大学

一般社団法人NCU
CRESS

ICTを利用した臨床研究デジタルソリューション提案事業

名古屋市立大学

株式会社
浜松バイオチェスト

ユーグレナの大型化、自動化

静岡大学



一般社団法人
みんなの認知症情報
学会

IT（ソフト）、ヘルスケア

静岡大学



株式会社EU-BS

バイオサイエンス関連の受託研究・製品開発

静岡大学



SRHリサーチ
株式会社

医療機器及び診断支援の研究、開発、製造及び販売

浜松医科大学



株式会社
プレッパーズ

質量分析に関する受託事業および質量分析関連装置や技術の研究・開発

浜松医科大学



株式会社
アデノプリベント

大腸がんリスク検査「コリバクチン検査」等のリスク検査や治療法の研究開発

静岡県立大学



株式会社396バイオ

光を利用して微生物を活性化させる技術等の細胞・微生物及びその利用に関する事業

静岡県立大学



Luna RD株式会社

最先端のナノDDS技術を駆使した医薬品・ワクチンの開発

静岡県立大学



合同会社Digsense

AIで食品のキャラクターセットを予測するFlavor indexサービスの提供

静岡県立大学

AI & IOT

AI & IoT



有限会社ユビグラフ

ユビキタス関連システムの開発および販売

名古屋大学



株式会社サイエンス
インパクト

放射線計測（宇宙線ラジオグラフィ）、Webメディア運営

名古屋大学



株式会社MEBAIS

「医療従事者の裏側の負担を軽減する」医療のレセプトを最適化するソリューションを提供

名古屋大学



株式会社TARVO

音声加工・変換の開発受託、音声加工プラットフォーム公開

名古屋大学



OnClouds
株式会社

自律移動ソフトウェア実証実験、カメラ姿勢推定地図生成

名古屋大学



アイクリスタル
株式会社

プロセスインフォマティクスによる開発・量産プロセスの最適化ソリューションの提供

名古屋大学



一般社団法人
モビリティと人の
データラボ

モビリティに関わる人間特性のデータベースの維持・管理・拡充及びデータを利用した研究開発の促進

名古屋大学



株式会社フィットメ
トリクス

植物科学・農学におけるデータ取得・解析技術の受託開発やコンサルティング

名古屋大学



株式会社
ポットスチル

人と人工物間のインタラクションに関する技術開発と製品への応用

名古屋大学



株式会社
CYPE
Technology

臨場感のあるVR講義を制作・配信する仕組みや遠隔で実験や演習を行う仕組みを提供

名古屋大学



ZATITECH
合同会社

自動運転車両制御システムの開発、コンサルティング、ソリューション提供等

名古屋大学



株式会社
Acompany

プライバシー規制対応とデータ活用を両立させる『AutoPrivacy』の開発・提供

名古屋大学



株式会社エクセイド

自動運転システムの研究・開発及びモビリティサービスの提供

名古屋大学



ZAZA株式会社

エンジニア・研究者向け産業用製品グローバルプラットフォーム

名古屋大学



株式会社WITH

協働型物搬自動運転システムの販売とMaaS企画

名古屋大学



株式会社Sonoligo

音楽・スポーツ・アートのイベント予約・参加情報をサブスクリプションにて提供するプラットフォーム運営

名古屋大学



FAINZY
TECHNOLOGIES
株式会社

「ラストマイル配送をロボットで変革する」自動運転、AI、IoTでインテリジェントな配送ロボットを創造

名古屋大学



株式会社
オプティマインド

「世界のラストワンマイルを最適化する」をビジョンに、ラストワンマイル配送のルートを最適化する「Loogia」の開発・提供

名古屋大学



AquaAge株式会社

肌画像AI分析による肌に合うスキンケア商品を提案、自動運転シミュレーション環境の構築

名古屋大学



SSR株式会社

スペクトル超解像技術により、分光分析の高精度化、高速化を実現するソフトを開発しています。

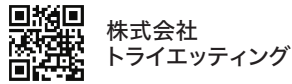
名古屋大学



株式会社
マップフォー

3次元地図、空間認識に関する技術開発及びソリューションの提供

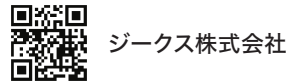
名古屋大学



株式会社
トライエッティング

サプライチェーン領域における業務特化型拡張知能 (AI) の製品販売事業

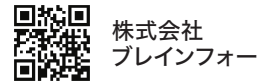
名古屋大学



ジークス株式会社

AIの研究開発・業務委託ソフトウェアの販売

名古屋大学



株式会社
ブレインフォー

自動運転用AI作成サービス受託開発、自動運転用データ収集車両の構築

名古屋大学



株式会社 Hashup

大学生向け授業評価サイト「楽単らくだ」の運営と、AI開発受託やコンサルティング

名古屋大学



Fotographer AI
株式会社

生成AIを活用した商品写真自動生成サービス「Fotographer.ai」を用いたEC・マーケティングのための商品クリエイティブ作成の支援

名古屋大学



株式会社 FAI

自社開発のCAEやトポロジー最適化技術を活用し、シミュレーションベースのモノづくりに対するソリューションを提供

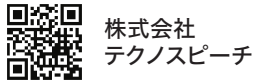
名古屋大学



株式会社
コネクティブ

Webシステム開発

名古屋工業大学



株式会社
テクノスピーチ

最先端の音声関連技術

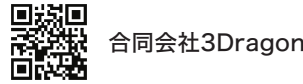
名古屋工業大学



有限会社
来栖川電算

ソフトウェア開発

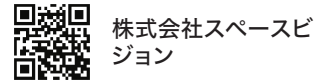
名古屋工業大学



合同会社 3Dragon

3D表示装置・計測装置の開発・販売

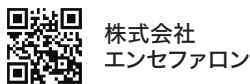
名古屋工業大学



株式会社
スペースビジョン

3Dスキャニング技術

名古屋工業大学



株式会社
エンセファロン

機械学習を用いたシステム開発

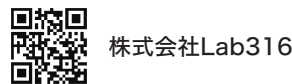
名古屋工業大学



UTSテクノロジー株式会社

「高齢者見守りシステム」の実用化等

名古屋工業大学



株式会社 Lab316

コンテンツ・メディア事業

名古屋工業大学



合同会社 Operation
Technology Associate

サイバーセキュリティに関する演習実施・教育活動支援

名古屋工業大学



合同会社 エンターテイル

Webサービス開発

名古屋工業大学



AGREEBIT
株式会社

合意形成のためのD-Agreeサービスの提供

名古屋工業大学



株式会社 SAZO

越境ECプラットフォームSAZO運用・開発および物流AIの開発

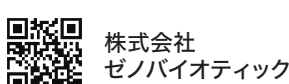
名古屋工業大学



株式会社 Lukos

製造業を対象としたAI技術によるITソリューションの提供、プログラミング学習支援

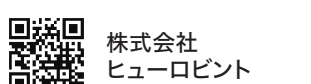
岐阜大学



株式会社
ゼノバイオティック

化学者向けの化合物毒性予測ソフトウェアの開発

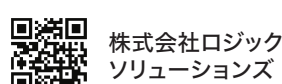
岐阜大学



株式会社
ヒューロビント

「試作開発」「製品開発支援」のトータルソリューション

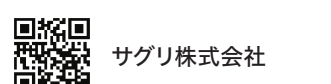
岐阜大学



株式会社 ロジック
ソリューションズ

技術者育成教育事業、フレックス・ラーニング・システム (FLS) の開発・販売・サポート

岐阜大学



サグリ株式会社

衛星データ解析および機械学習による事業創出

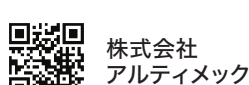
岐阜大学



N研究所株式会社

シミュレータ、研究受託、理論解析作業、AIモデリング、制御ソフト開発

岐阜大学



株式会社
アルティメック

施設・設備に合わせたIoT・DX化支援システム開発

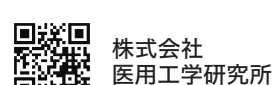
岐阜大学



株式会社
ウエルラビィ

医療、福祉および健康増進に関する製品の企画、試作開発、製造、販売

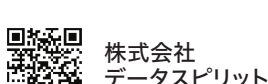
岐阜大学



株式会社
医用工学研究所

医療用データウェアハウス (病院の経営支援、診療支援、研究支援、業務効率の改善) の立案・構築・導入

三重大学



株式会社
データスピリット

コンピュータを応用した設備診断等のシステムの開発、販売

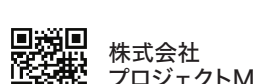
三重大学



株式会社
Anotherworker

コンピュータ使用業務に対する効率化・自動化プログラムの作成・提供

三重大学



株式会社
プロジェクトM

HP制作、キッチンカー検索サイト「mogmap」の運営、情報発信サービス「Mieet Plus」の開発・販売

三重大学



AutoSystems
株式会社

ハードウェアおよびソフトウェアの研究・開発

名古屋市立大学



株式会社 クオトミー

医療DX/AI

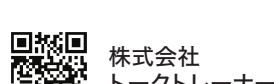
名古屋市立大学



センスコム合同会社

振動解析サービスの提供、振動解析技術コンサルティング等

愛知県立大学



株式会社
トークトレーナー

AIを用いた英語学習アプリ開発

静岡大学



合同会社
MODE・CREATE

第三者特許監視データベースのソフトウェア開発と販売、及び顧客への運用コンサルティング

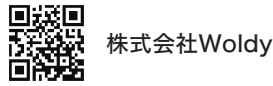
静岡大学



合同会社DD

AIを活用した英語学習サービス

静岡大学



株式会社Woldy

IoT デバイス、アプリ、Web サービスの開発
と販売、猫のIoT 首輪の開発

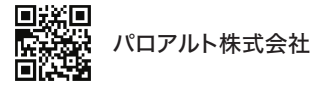
静岡大学



株式会社AI技研

人口知能 (AI) とデジタル計測・信号処理技術の技術コンサルティングと人材育成

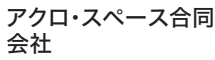
静岡大学



パロアルト株式会社

企業の人材育成、DX 推進・サイバーセキュリティ対策の支援

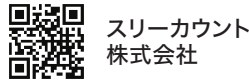
静岡大学



アクロ・スペース合同会社

情報処理・情報提供サービス、スマートフォンアプリの開発

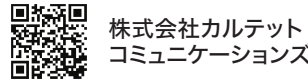
静岡大学



スリーカウント株式会社

インターネット広告運用代行、HP制作、各種DTP制作、採用コンサルティング

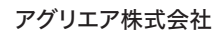
静岡大学



株式会社カルテット
コミュニケーションズ

インターネット広告運用代行、運用支援ツールの自社開発

静岡大学



アグリエア株式会社

農業AIに関する研究開発及びコンサルティング業務

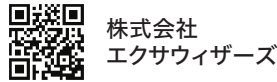
静岡大学



株式会社
プログメイト

小中高生向けプログラミング 学校の展開

静岡大学



株式会社
エクサウィザーズ

AIを活用した介護ビジネス等

静岡大学



マービット合同会社

デジタルサイネージ等の ICT システム及びソフトウェアの企画・開発・販売・教育

静岡県立大学

MANUFACTURING

モノづくり



株式会社Photo
electron Soul

電子ビーム生成システムの開発・製造・販売

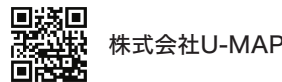
名古屋大学



NU-Rei株式会社

プラズマ技術を用いたオンリーワン製品の開発・製造・販売

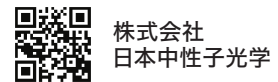
名古屋大学



株式会社U-MAP

AIN ファイバーファイラー等の破壊的な新材料とAIを駆使した加工技術による革新的工業製品を展開

名古屋大学



株式会社
日本中性子光学

光学素子、中性子計測用装置、超伝導加速器用検査装置、放射線計測用装置の開発・販売

名古屋大学



Link T&B
株式会社

パワーエレクトロニクス機器の研究・開発・販売・技術コンサルティング

名古屋大学



株式会社
UJ-Crystal

シリコンカーバイドウェア (SiC ウェハ) の開発・製造、および販売

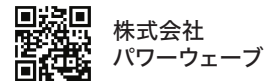
名古屋大学



株式会社
Power Design
Laboratory

車載電源回路や急速充電器などカーボンニュートラル実現に貢献する電力変換回路およびシステムの企画・開発・プレ量産試作を展開

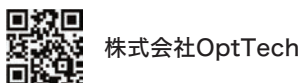
名古屋大学



株式会社
パワーウェーブ

パワーウェーブは、波動の力を活用し、広範囲かつ大電力をワイヤレスで伝送する技術を、社会に広げることが目指します。

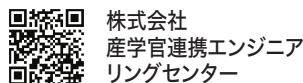
豊橋技術科学大学



株式会社OptTech

製品や薬品の検査・検品、生産設備の監視や管理の効率化など 製造業や精密部品に関する課題を、照明と機械学習をで解決します

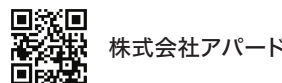
豊橋技術科学大学



株式会社
産学官連携エンジニア
リングセンター

切削工具の海外販売

名古屋工業大学



株式会社アパード

パワーエレクトロニクス関連コンサルティング

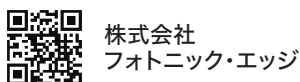
名古屋工業大学



株式会社LIFULL
ArchiTech

設備材料の研究開発

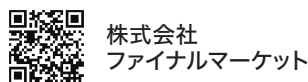
名古屋工業大学



株式会社
フォトニック・エッジ

ミリ波・テラヘルツ波帯のRF機器、及び計測システムの提供

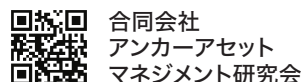
岐阜大学



株式会社
ファイナルマーケット

透水性舗装の設計、施工

三重大学



合同会社
アンカーアセット
マネジメント研究会

アンカーに関する研究開発、調査、コンサルティング

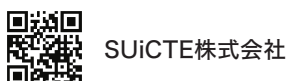
三重大学



株式会社
プリンシプル

産業機器、医療機器の開発、設計、製造

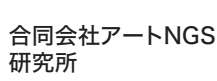
三重大学



SUICTE株式会社

半導体集積回路の要素技術の受託設計、受託開発、特許のサブセンシング

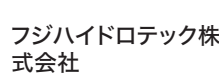
静岡大学



合同会社アートNGS
研究所

中赤外半導体レーザーの製造・販売、技術相談、電子回路設計・試作

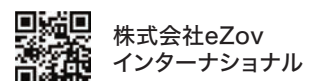
静岡大学



フジハイドロテック株式会社

水熱技術を用いて廃棄物のリサイクル・燃料化・資源化ビジネス

静岡大学



株式会社eZov
インターナショナル

水・空気の浄化に関する設備、その周辺機器の企画・開発・設計・製造・コンサルティング

静岡大学



S-Bridges
株式会社

茶葉・茶殻を含む食品からのタンパク質の抽出およびその製造プロセスの確立

静岡大学

MIR株式会社

ロボティクス技術のコンサルティング

静岡大学

ライドマティクス
テクノロジーズ株式会社

RTK - GNSS (高精度測位技術) を活用したアプリケーション開発

静岡大学



株式会社アーミス

パワーエレクトロニクス・モーターに関する技術教育、技術支援、製品開発

静岡大学



株式会社パラボ

高忠実度色再現技術による色・質感測定システムの開発、製造、販売

静岡大学



株式会社
三浦CAD・CAM
研究所

CAD/CAM/CAE に関するコンサルティングソフトウェア開発

静岡大学



株式会社ANSeeN

CdTe 半導体検出器の設計開発・販売

静岡大学



浜松カーボニクス
株式会社

カーボンナノチューブの開発・製造

静岡大学



株式会社プラズマ
アプリケーションズ

光源応用製品製造

静岡大学



株式会社Sound
Concierge

建設の音響設計・研究開発・スピーチプライバシーテクノロジー応用の機械開発

静岡大学



株式会社
はままつメディカル
ソリューションズ

医療機器の開発、申請、製造及び販売

浜松医科大学



株式会社
ペップイノーバ

ペプチド化合物の研究開発支援、生産支援、合成試薬販売

中部大学

株式会社Lacubed

超小型レーザーを使用した小型・軽量・持ち運びが容易なレーザービニング技術を提供

自然科学研究機構



株式会社
Applied FUSION
Technology

核融合研究の技術を活用し細孔制御された活性炭を使ってウイルス不活性化装置を提供

自然科学研究機構



ハイティラ株式会社

次世代の高性能小型レーザーを開発し計測・エネルギー・量子技術等へ応用

自然科学研究機構

CHEMISTRY&MATERIAL

化学・素材



超臨界技術センター
株式会社

超臨界流体を用いた有効成分の回収、不純物除去、材料リサイクルの受託試験、受託製造事業

名古屋大学



SyncMOF
株式会社

ガスの吸着・分離材の製造、性能評価、DAC 装置等のガス分離装置の製造・販売

名古屋大学



株式会社ミサリオ

マイクロレベルの局所領域や微細部材の熱膨張制御を可能とする、「温めると縮む」負熱膨張微粒子の製造・販売

名古屋大学



株式会社クロスイー

180°C以下で有害ガスやタールの発生をほとんど伴わずに有機物を化学的に脱水し炭素化する、革新的な炭化技術を提供

名古屋大学



株式会社
ソラマテリアル

空気に浮くほどの軽さと機能性を有する「超軽量材料」の開発を通して、宇宙・空の新時代を切り拓く

名古屋大学



株式会社
fff fortississimo

炭素繊維材料及び繊維強化複合材料の設計、開発、製造及び販売

名古屋大学 / 岐阜大学



シーズテクノ
株式会社

グラフェンを活用した成膜技術

名古屋工業大学



シーエムシー技術開発
株式会社

カーボンマイクロコイル (CMC) 技術の移転事業及び CMC の製造・販売事業

岐阜大学



株式会社
マンナン工房ひだ

冷凍用こんにゃくの製造販売、飛騨産野菜等を活用した刺身こんにゃくの製造販売

岐阜大学



株式会社
先進技術研究所

CFRP 等複合材料の研究開発の実施・支援

岐阜大学



FiberCraze
株式会社

防虫・保湿・抗ウイルス等の機能を持つ機能性繊維及び多孔質フィルムの研究開発

岐阜大学



株式会社
上野技術研究所

材料の難炭化及び不炭化に関する研究開発および研究開発支援

岐阜大学



有限会社
細胞外基質研究所

エラスチン等の研究用試薬の販売

三重大学



株式会社フェルテ

有機機能性材料の構造制御技術・成膜技術のコンサルティング

静岡大学



株式会社
Bubble&Flow

ファインゲミカル合成プロセスの開発

静岡大学



株式会社セルマップ

セルロース系材料及び樹脂との複合化技術のコンサルティング及び受託開発

静岡大学



一般社団法人
GEOASIA研究会

地盤工学に関する調査・設計及び技術開発・研究開発支援

名古屋大学



株式会社シムス

グローバルヘルス開発事業、ベンチャー投資事業、学生ベンチャー起業支援プロジェクト

名古屋大学



高齢社会
街づくり研究所
株式会社

超高齢社会に対応する街づくりの実現に向けた企画コンサルタント事業

名古屋大学



Lawin株式会社

食品の企画及びコンサルティング

名古屋大学



一般社団法人
里モビニティ

里モビのリリース、コミュニティ活動の運営企画

名古屋大学



一般社団法人
ライフアンド
モビリティ

移動問題を解決するサービスの提供とコンサルティング

名古屋大学



株式会社OnePile

長期インターン求人サイト「JobPacker」の運営

名古屋大学



株式会社
Harmony For

外国人留学生に特化した就職サポート・企業の採用支援事業、外国人留学生向けライフサービス事業

名古屋大学 / 岐阜大学

合同会社ROKA

商業デザイン

名古屋工業大学

株式会社コトワザ

建築アイテムのデザイン及びプロデュース

名古屋工業大学



株式会社GUTS

幼児教室、個別支援塾の運営を通じた発達障害の子供や家族の支援

岐阜大学



株式会社ドングルズ

アントレプレナーシップ教育事業、教育イベント企画運営

岐阜大学



株式会社
カケミチプロジェクト

児童精神科専門の訪問看護ステーション「ナンナル」の運営

岐阜大学



一般社団法人
ちまたファクトリ

岐阜を起点に活動するプロフェッショナルが「岐阜で新しい学びとしごとをつくる」

岐阜大学



株式会社artkake

若手アーティストが制作した作品の画像データ化およびグッズ販売

岐阜大学



合同会社ワンリアライズ

起業家の成長阻害要因を解決に導く支援事業

岐阜大学



株式会社Liempia

専門高校生の学習習慣をサポートするアプリの提供

岐阜大学



Umaji Japan
株式会社

Umaji ブランド農作物の提供およびサプライチェーンの再構築

岐阜大学



株式会社
アーリー・バード・
エージェント

人材紹介サービス

三重大学



ピーアンドディー
パートナーズ
株式会社

日本製品の中国輸入許可サポート

三重大学



X TOWN株式会社

転職支援、イベント事業

三重大学



合同会社
建築構造技術
研究所

建築構造に関わる技術の開発・コンサルタント

名古屋市立大学



株式会社
名古屋臨床薬理
研究所

医工連携、産学連携のコーディネート事業

名古屋市立大学



クレイジーゼロ
株式会社

企業向け SNS・動画制作 活用サービス

名古屋市立大学



株式会社カチノデ

スタートアップ支援サービス（プログラムの企画/コミュニティの運営/デザイン制作）

愛知県立芸術大学



株式会社共愉の学び

教育・学習・学びに関するハード・ソフト及びコンテンツの企画・開発

静岡大学



株式会社ツールラボ

メール配信ツールなどシステム開発

静岡大学



株式会社インテックリサーチ

光技術、電子工学技術に関するコンサルティング業務

静岡大学



一般社団法人
BOSAI Edulab

防災とその教育に関する事業、被害の軽減への寄与及び効果的な防災教育の普及

静岡大学



株式会社Minashia

障がいやサポートを必要としているお子様が通う幼児教室

静岡大学



株式会社Gab

エシカルブランドに特化した Web マーケティング支援、商品販売プラットフォーム事業

静岡大学



Aoi Gin Craft
Technology
株式会社

ジュニアベリー及びハーブ類の栽培と品質改良、農作物のコンサルテーション

静岡大学

N-STEP

政治分野に対する SNS 支援、ネット選挙の構築

静岡大学

静岡アグリパートナーズ
合同会社

農産物の生産・加工・販売、農業・農村に関する教育の受委託、地域活性化に関する相談支援業務

静岡大学



STARS Space
Service株式会社

宇宙ゴミの捕獲、宇宙機を利用したサービスの提供・コンサルティング

静岡大学



N&Vブリッジ
株式会社

日本企業のベトナム進出サポート、市場調査、マッチング等総合コンサルティング

静岡大学



一般社団法人
プロフェッショナル
をすべての学校に

ICT を活用した遠隔授業で地方の小中学校と都心の企業を繋ぐキャリア教育事業

静岡大学



Exclothes
株式会社

除菌・消臭剤の販売

静岡大学



株式会社
静岡アグリビジネス
研究所

静岡大トマトの生産・販売

静岡大学



株式会社
スプレーアートEXIN

オーダーメイドのアートデザイン業務

静岡大学



有限会社
静岡アカデミック
リサーチ

小中高生学習指導業務

静岡大学



株式会社
ワークシフト研究所

育休プチ MBA 等の研修事業、働き方改革コンサルティング、人材紹介サービス等

静岡県立大学



特定非営利活動法人
ホスピタル・プレイ
協会

病児に遊び（ホスピタル・プレイ）を届ける事業及び普及のための教育研究事業

静岡県立大学

BACK ISSUES

とっきんとっきん 既刊バックナンバー

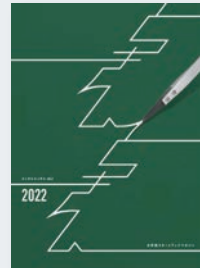


<https://tongali.net/tokkin-tokkin/>

多岐にわたる分野で社会変革・新しい価値の創造をすすめる東海地区の大学発スタートアップとその支援・教育についてフィーチャーする「とっきんとっきん」。そのバックナンバーを紹介する。既刊は左記ウェブサイトより参照できる。

VOL.3 / 2022
STARTUP SUPPORT PROGRAM

愛知-名古屋スタートアップエコシステムコンソーシアムにおける、スタートアップ支援プログラムの代表的なものをピックアップし紹介する。



VOL.1 / 2020
FUTURE DESIGN

東海地区の大学発スタートアップが、そのイノベーションによって作り出すこれからの社会変革と新しい未来の姿を特集する。



VOL.4 / 2023
FAB LAB

工作機器などを揃え、アイデア実現の場となる「Fab lab」をオープンしたTongali参画の3校と、そのLabについて紹介する。



VOL.2 / 2021
STARTUP ECOSYSTEM

東海地区で作れつつあるスタートアップを育てるエコシステム(生態系)を、大学発スタートアップを中心に図解し紹介する。



VOL.5 / 2024
EDGE-PRIME INITIATIVE 始動

アントレプレナーシップ教育の裾野の拡大に向けて「EDGE-PRIME Initiative」が始動。高校生等を対象に、各大学のノウハウを生かしたプログラムを紹介する。



